

仲井真地区調査報告書(暫定版)

令和 8 年 1 月 19 日版

はじめに(本調査の位置づけと特徴)

「潜在的生活支援ニーズ・活動ニーズ把握としての意義」

1. 本調査が対象とした高齢者像

- ・ 本調査は、要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上高齢者を対象として実施した。
- ・ この点は、本調査の結果を解釈するうえで極めて重要である。すなわち、本調査で把握された困りごとや活動意欲は、すでに制度サービスを利用している高齢者の顕在化したニーズではなく、制度の対象となる以前段階にある「潜在的な生活支援ニーズ」および「潜在的な社会参加ニーズ」を反映したものである。
- ・ そのため、本調査結果は「現在のサービス利用状況」を示すものではなく、将来的に支援や社会参加につながる可能性を持つ層の実態を捉えた調査として位置づけられる。

2. 潜在的生活支援ニーズを把握できた意義

- ・ 調査結果からは、要支援認定を受けていない高齢者であっても、話し相手の不足、移動手段への不安、買い物や掃除など日常生活上の負担といった軽度ではあるが生活の質に影響する困りごとが一定数みられた。
- ・ これらの困りごとは、直ちに介護保険サービスの利用につながるものではない一方で、放置された場合、生活機能低下や社会的孤立につながる可能性、家族支援に依存し続けることによる支援の不安定化、といった課題を内包していると考えられる。
- ・ このことは、要介護状態に至る前段階で生活上の変化を把握する介護予防把握事業の重要性を改めて示唆する結果である。

3. 潜在的な活動ニーズ(社会参加ニーズ)を同時に捉えた点

- ・ 本調査では、生活上の困りごとだけでなく、生活支援活動への参加意欲、協力できる内容、活動に対する対価意識といった、地域活動への参加可能性(潜在的な社会参加ニーズ)についても把握した。
- ・ その結果、要支援認定を受けていない高齢者の中に、「支援を受ける側」に固定されていない、「状況によっては支える側にもなりうる層」が一定程度存在することが確認された。これは、介護予防を「支援を提供する側／受ける側」という二分構造で捉えるのではなく、生活状況や体調に応じて役割が可変的に入れ替わる地域像を検討するうえで、重要な示唆を与えるものである。

4. 介護予防把握事業への示唆

- ・ 介護予防把握事業は、従来、フレイルリスクの早期発見、事業対象者該当の有無の把握等に主眼が置かれやすい傾向がある。
- ・ しかし本調査結果からは、「事業対象者か否か」という二分的判定のみでは、高齢者の生活実態や地域との関わりの可能性を十分に捉えきれないことが示唆される。要支援

認定を受けていない段階においても、困りごとの芽や孤立の兆し、社会参加への意欲は併存しており、これらを包括的に把握することが、実効性のある介護予防につながると思われる。

5. 生駒市類型化モデルを用いたことの意義

- ・ 本調査では、奈良県生駒市で用いられている類型化モデルを参考に、非該当、プレフレイル、フレイルという段階的視点から分析を行った。この類型化モデルを活用した意義は大きく、以下の点が挙げられる。

(1) 事業対象者の「有無」だけで終わらない評価が可能になった

- ・ 介護予防把握事業では、「事業対象者該当／非該当」という結果のみが強調されることが多い。
- ・ しかし本モデルを用いることで、非該当であっても生活上の困りごとを抱える層やプレフレイル段階で支援の入口を検討すべき層といったグラデーションとしての高齢者像を捉えることが可能となった。

(2) 「支援の必要性」と「活動の可能性」を同時に考える枠組みとなった

- ・ 類型化により、フレイル状態(支援の必要性)と活動意欲・協力意向(社会参加の可能性)を重ねて検討することができ、一方的な「支援対象」として高齢者を位置づけられない分析が可能となった。これは、住民主体の生活支援や担い手創出を検討する本事業の目的と親和性が高い。

6. 本調査の特徴の整理

以上を踏まえると、本調査の特徴は次の2点に集約される。

特徴①: 要支援認定を受けていない65歳以上高齢者を対象に、潜在的な生活支援ニーズおよび潜在的な社会参加ニーズを把握した点。

→ 介護予防把握事業の意義を、生活実態・地域参加の視点から具体化した。

特徴②: 生駒市類型化モデルを活用することで、「事業対象者か否か」という二分的判定に終わらない分析を行った点。

→ 支援の必要性和活動可能性を連続的に捉え、次年度の生活支援事業・担い手形成につなぐ検討基盤を構築した。

7. 2年目以降への示唆

- ・ 本調査は、因果関係を検証するものではなく、また回答者ベースの結果であるため、結果の一般化には留意が必要である。一方で、要支援認定前段階における生活課題の存在や非該当層を含む地域住民の社会参加可能性、類型化モデルを用いることによる多層的理解の有効性については、今後の実践を検討するうえでの重要な示唆を提供している。
- ・ 2年目以降は、本調査で把握された潜在的ニーズを踏まえ、①生活支援サービスの小規模試行、②担い手形成の実装と運用データの蓄積、③生活支援参加と生活機能・社会参加の関係の検証を通じて、実践と研究を往還させながら検証を進めていくことが求められる。

I. 調査概要

目的:本調査は、仲井真地区における 65 歳以上の要支援認定を受けていない高齢者を対象に、生活支援ニーズと社会参加ニーズの実態調査(介護予防把握)を実施することで、地域における生活支援サービスの必要性和担い手形成の基礎データを得ることを目的とする。

- フレイル状態に対する生活支援ニーズの把握と類型化
- 活動ニーズ及びリエイブルメント対象者の量的把握

対象:令和 7 年 12 月 1 日時点において、仲井真地区にお住いの 65 歳以上で「要介護認定なし」の方

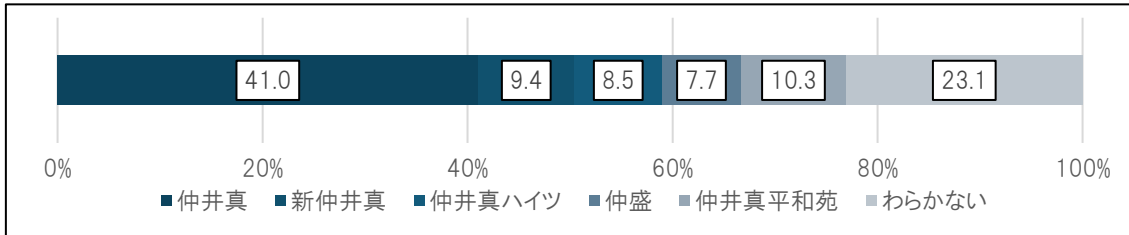
方法:自記式アンケート調査

期間:令和 7 年 12 月 16 日(火)～12 月 26 日(金)

回答:回答数 189 名 回答率 22.5% 有効回答者数 188 名(年齢対象外除く)

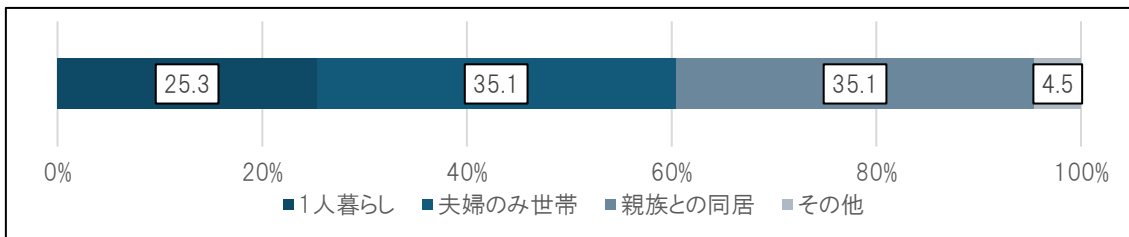
Ⅱ. 回答者の属性

● 居住区



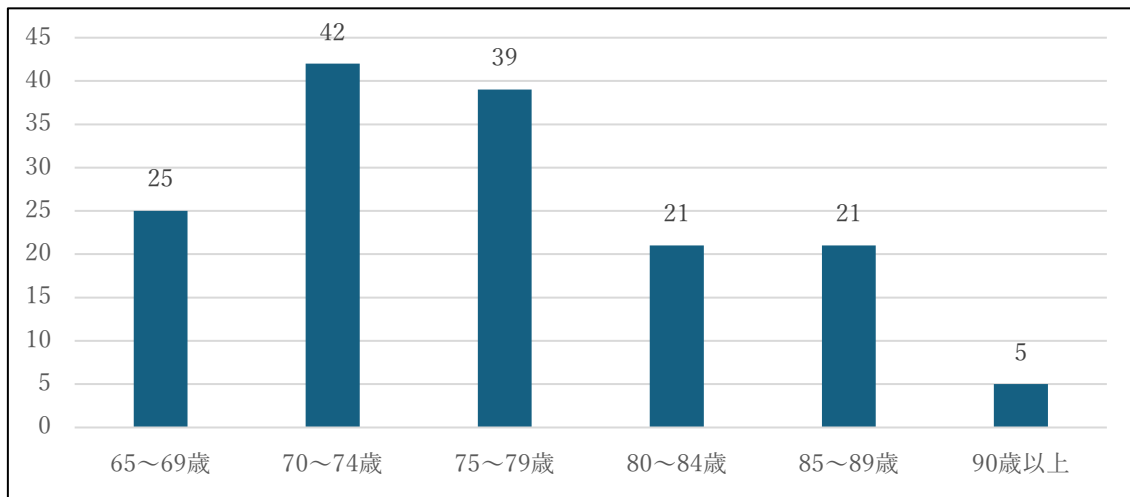
		度数	%	有効%	累積%
有効	仲井真	48	25.7	41.0	41.0
	新仲井真	11	5.9	9.4	50.4
	仲井真ハイツ	10	5.3	8.5	59.0
	仲盛	9	4.8	7.7	66.7
	仲井真平和苑	12	6.4	10.3	76.9
	わからない	27	14.4	23.1	100.0
	合計	117	62.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	70	37.4		
合計		187	100.0		

● 世帯



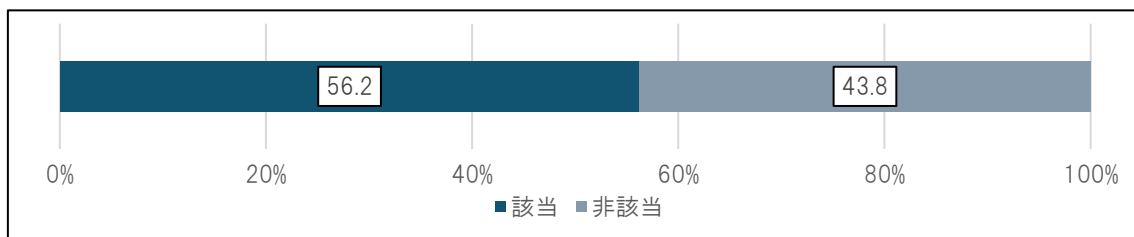
		度数	%	有効%	累積%
有効	1人暮らし	39	20.9	25.3	25.3
	夫婦のみ世帯	54	28.9	35.1	60.4
	親族との同居	54	28.9	35.1	95.5
	その他	7	3.7	4.5	100.0
	合計	154	82.4	100.0	
欠損値		33	17.6		
合計		187	100.0		

● 実年齢



		度数	%	有効%	累積%
有効	65～69 歳	25	13.4	16.3	16.3
	70～74 歳	42	22.5	27.5	43.8
	75～79 歳	39	20.9	25.5	69.3
	80～84 歳	21	11.2	13.7	83.0
	85～89 歳	21	11.2	13.7	96.7
	90 歳以上	5	2.7	3.3	100.0
	合計	153	81.8	100.0	
欠損値		34	18.2		
合計		187	100.0		

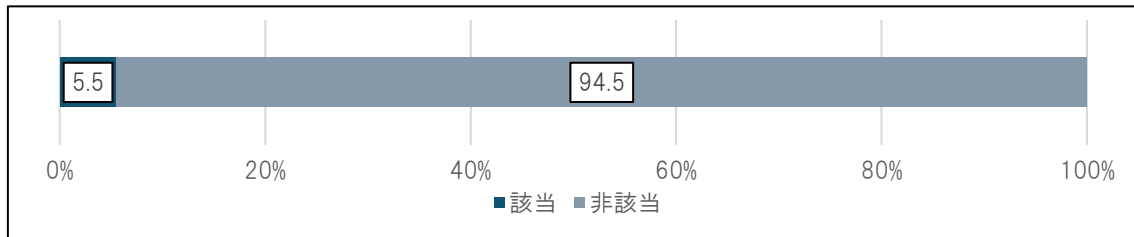
● 後期高齢者



		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	86	46.0	56.2	100.0
	非該当	67	35.8	43.8	43.8
	合計	153	81.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	34	18.2		
合計		187	100.0		

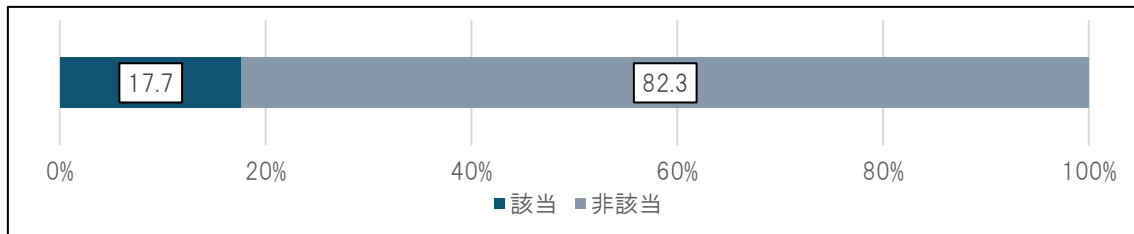
Ⅲ. 基本チェックリスト(全 25 問)からみる領域別リスク

● 総合(Q1-20 中 10 項目以上該当)



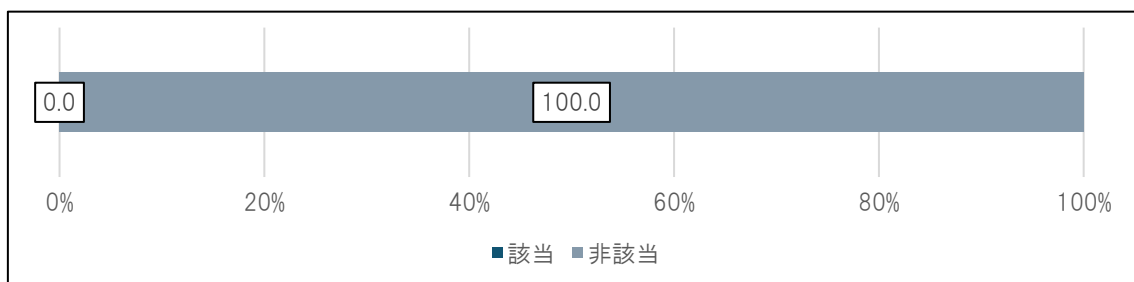
		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	10	5.3	5.5	100.0
	非該当	171	91.4	94.5	94.5
	合計	181	96.8	100.0	
欠損値		6	3.2		
合計		187	100.0		

● 運動器機能(Q6-10 中、3 項目以上該当)



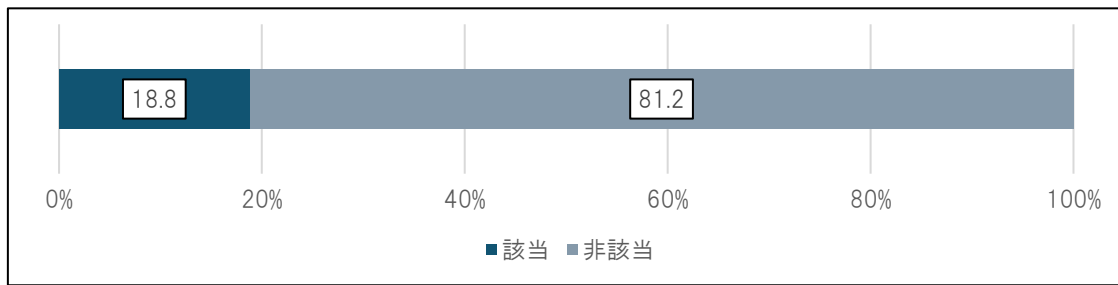
		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	32	17.1	17.7	100.0
	非該当	149	79.7	82.3	82.3
	合計	181	96.8	100.0	
欠損値		6	3.2		
合計		187	100.0		

● 低栄養(Q11+BMI<18.5)



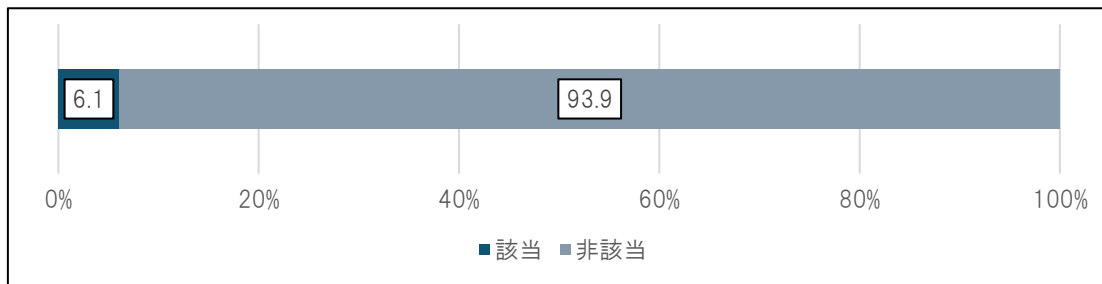
		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	0	0.0	0.0	0.0
	非該当	173	92.5	100.0	100.0
	合計	173	92.5		
欠損値		14	7.5		
合計		187	100.0		

● 口腔機能(Q13-15 中、2 項目以上該当)



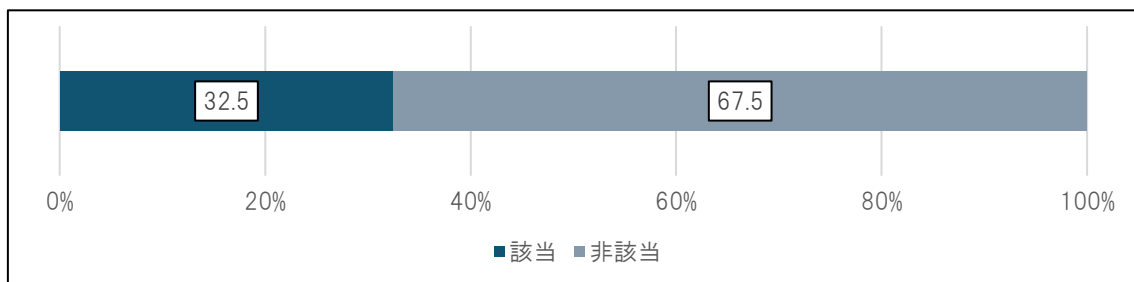
		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	34	18.2	18.8	100.0
	非該当	147	78.6	81.2	81.2
	合計	181	96.8	100.0	
欠損値		6	3.2		
合計		187	100.0		

● 閉じこもり(Q16・17 中、Q16 に該当)



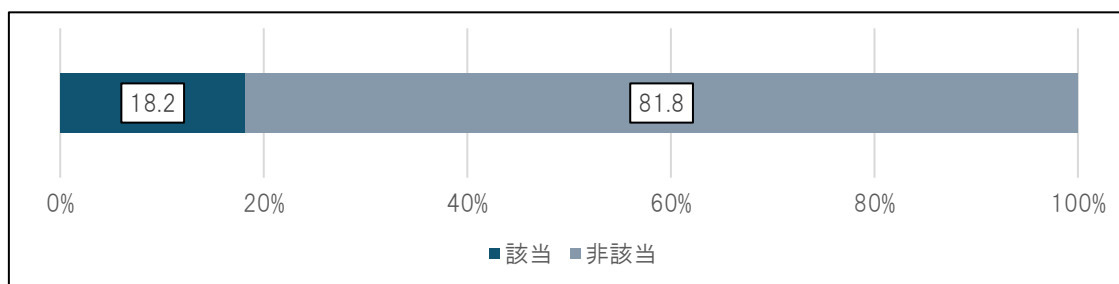
		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	11	5.9	6.1	100.0
	非該当	169	90.4	93.9	93.9
	合計	180	96.3	100.0	
欠損値		7	3.7		
合計		187	100.0		

● 認知機能(Q18-20 中、いずれか該当)



		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	50	26.7	32.5	100.0
	非該当	104	55.6	67.5	67.5
	合計	154	82.4	100.0	
欠損値		33	17.6		
合計		187	100.0		

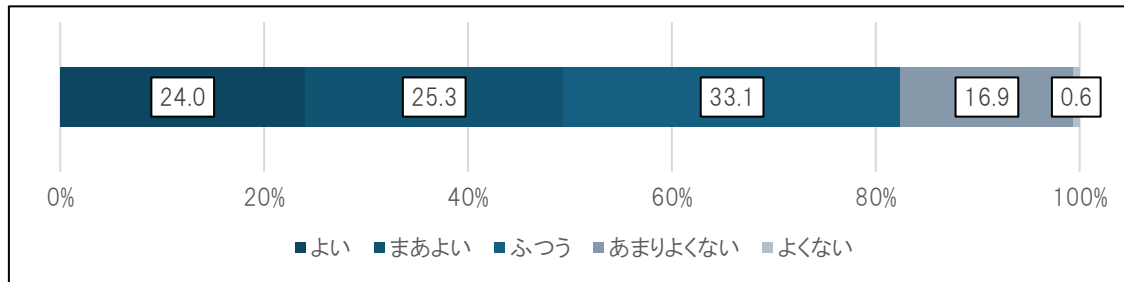
● うつ(Q21-25 中、2 項目以上該当)



		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	28	15.0	18.2	100.0
	非該当	126	67.4	81.8	81.8
	合計	154	82.4	100.0	
欠損値		33	17.6		
合計		187	100.0		

IV. 健康

● (主観的)健康状態

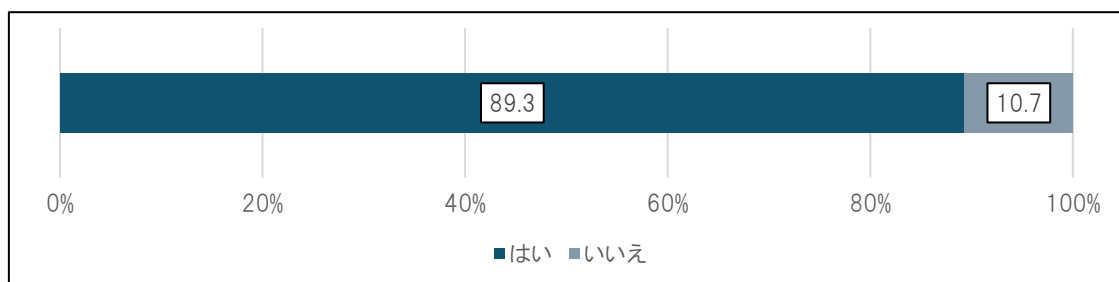


		度数	%	有効%	累積%
有効	よい	37	19.8	24.0	24.0
	まあよい	39	20.9	25.3	49.4
	ふつう	51	27.3	33.1	82.5
	あまりよくない	26	13.9	16.9	99.4
	よくない	1	0.5	0.6	100.0
	合計	154	82.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	33	17.6		
合計		187	100.0		

● 実意年齢と気持ち年齢の年齢差

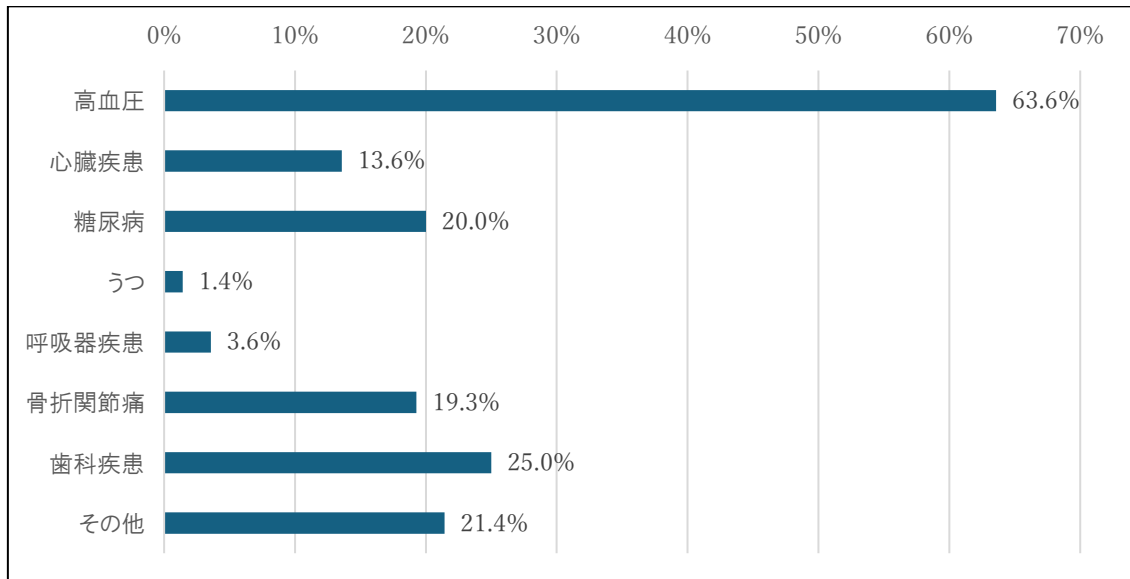
	実際の年齢	気持ち年齢	年齢差
度数	有効	153	145
	欠損値	34	42
平均値	76.5	68.0	8.4
中央値	75.0	70.0	7.0
最小値	65	17	-11
最大値	96	90	64

● 現在の受診状況有無



		度数	%	有効%	累積%
有効	はい	134	71.7	89.3	89.3
	いいえ	16	8.6	10.7	100.0
	合計	150	80.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	19.8		
合計		187	100.0		

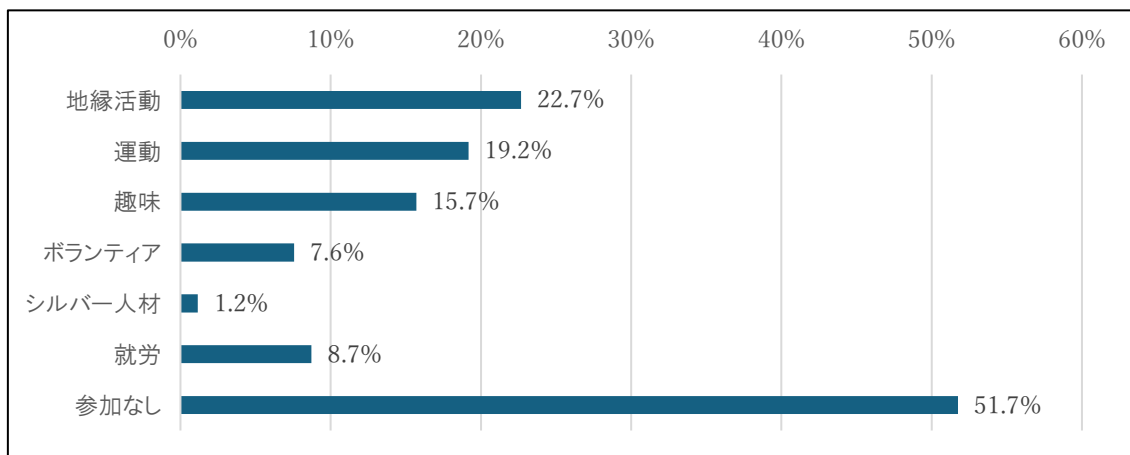
● 治療中の病気(複数回答)



		度数	%	ケースの%
疾患	高血圧	89	37.9%	63.6%
	心臓疾患	19	8.1%	13.6%
	糖尿病	28	11.9%	20.0%
	うつ	2	0.9%	1.4%
	呼吸器疾患	5	2.1%	3.6%
	骨折関節痛	27	11.5%	19.3%
	歯科疾患	35	14.9%	25.0%
	その他	30	12.8%	21.4%
合計		235	100.0%	167.9%

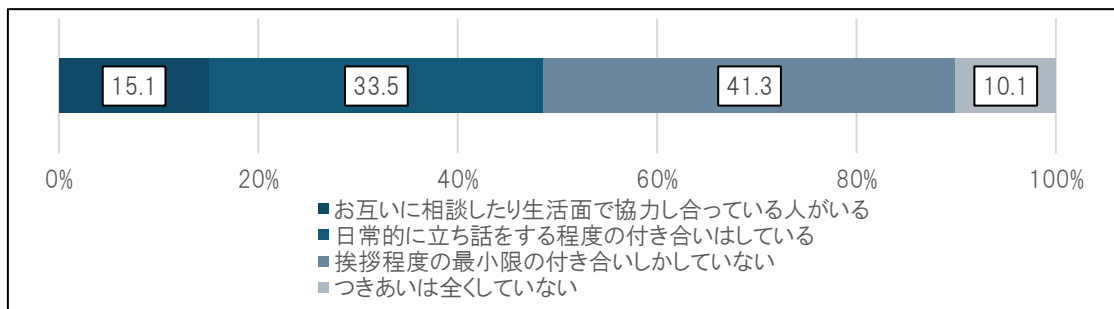
V. 社会関係

● 社会参加(複数回答)



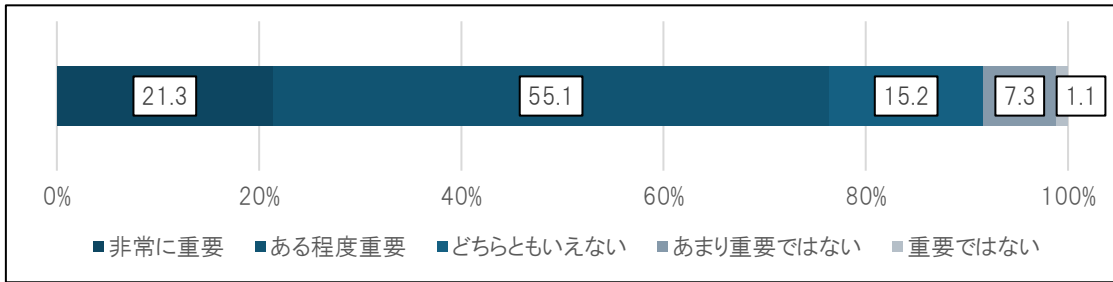
		度数	%	ケース%
社会参加	地縁活動	39	17.9%	22.7%
	運動	33	15.1%	19.2%
	趣味	27	12.4%	15.7%
	ボランティア	13	6.0%	7.6%
	シルバー人材	2	0.9%	1.2%
	就労	15	6.9%	8.7%
	参加なし	89	40.8%	51.7%
合計		218	100.0%	126.7%

● 近所付き合い



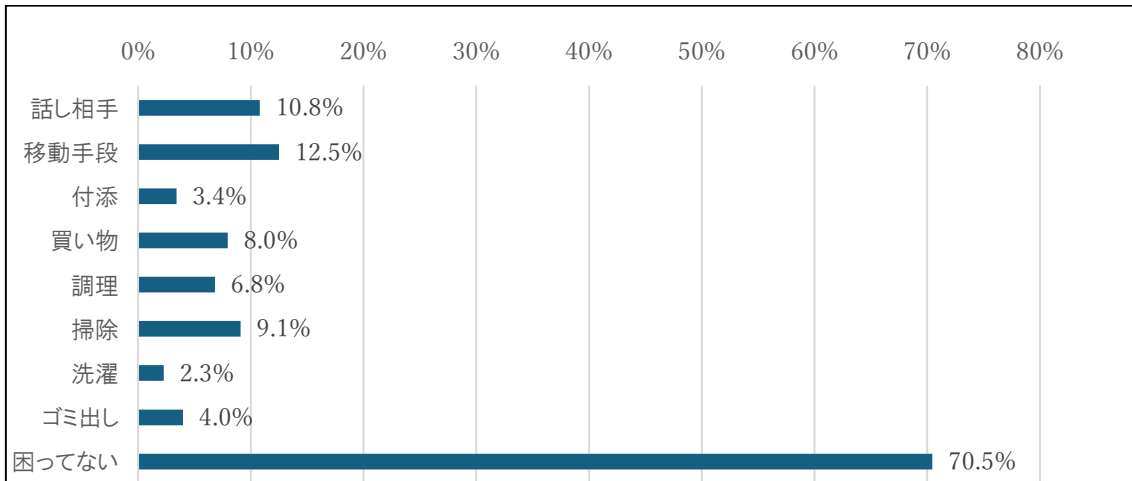
		度数	%	有効%	累積%
有効	お互いに相談したり生活面で協力し合っている人がある	27	14.4	15.1	15.1
	日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている	60	32.1	33.5	48.6
	挨拶程度の最小限の付き合いしかしていない	74	39.6	41.3	89.9
	つきあいは全くしていない	18	9.6	10.1	100.0
	合計	179	95.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	8	4.3		
合計		187	100.0		

● 近隣との信頼関係



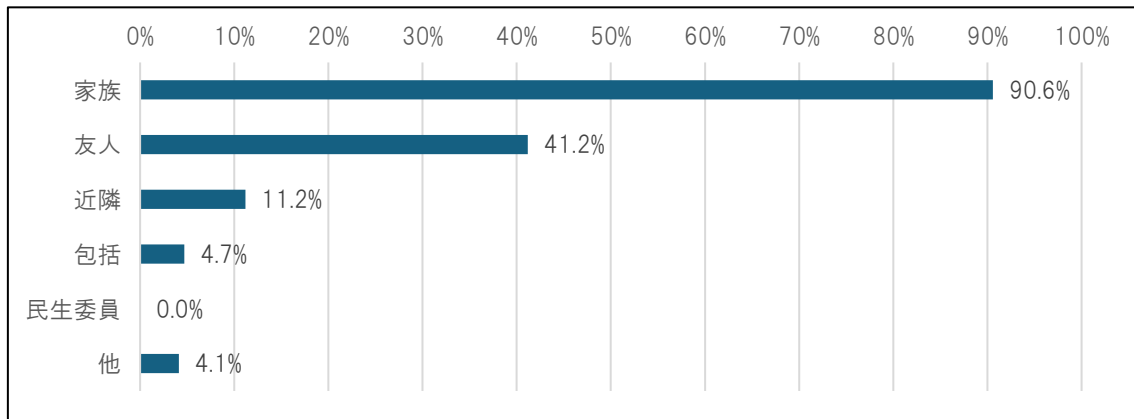
		度数	%	有効%	累積%
有効	非常に重要	38	20.3	21.3	21.3
	ある程度重要	98	52.4	55.1	76.4
	どちらともいえない	27	14.4	15.2	91.6
	あまり重要ではない	13	7.0	7.3	98.9
	重要ではない	2	1.1	1.1	100.0
合計		178	95.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	9	4.8		
合計		187	100.0		

● 日常的な困りごと(複数回答)



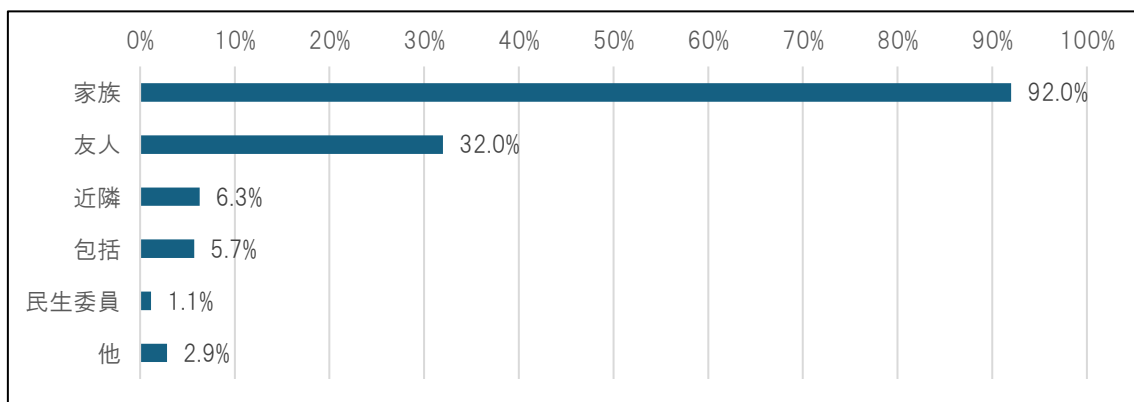
		度数	%	ケース%
困りごと	話し相手	19	8.5%	10.8%
	移動手段	22	9.8%	12.5%
	付添	6	2.7%	3.4%
	買い物	14	6.3%	8.0%
	調理	12	5.4%	6.8%
	掃除	16	7.1%	9.1%
	洗濯	4	1.8%	2.3%
	ゴミ出し	7	3.1%	4.0%
	困ってない	124	55.4%	70.5%
合計		224	100.0%	127.3%

● 困りごとの相談先(複数回答)



		度数	%	ケース%
相談先	家族	154	59.7%	90.6%
	友人	70	27.1%	41.2%
	近隣	19	7.4%	11.2%
	包括	8	3.1%	4.7%
	民生委員	0	0.0%	0.0%
	他	7	2.7%	4.1%
合計		258	100.0%	151.8%

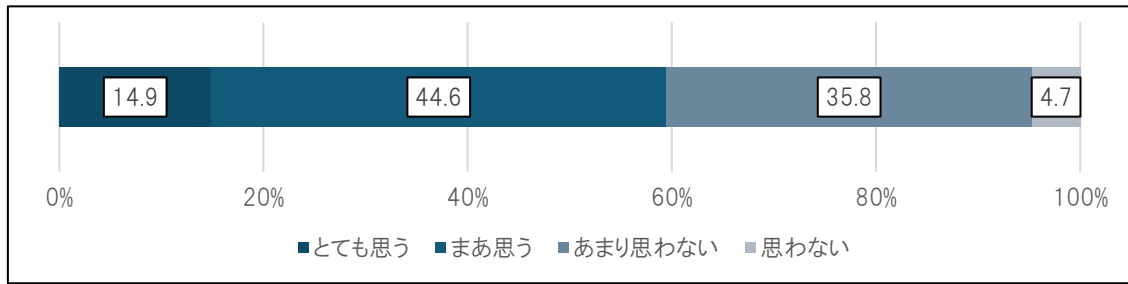
● 困りごとの依頼先(複数回答)



		度数	%	ケース%
依頼先	家族	161	65.7%	92.0%
	友人	56	22.9%	32.0%
	近隣	11	4.5%	6.3%
	包括	10	4.1%	5.7%
	民生委員	2	0.8%	1.1%
	他	5	2.0%	2.9%
合計		245	100.0%	140.0%

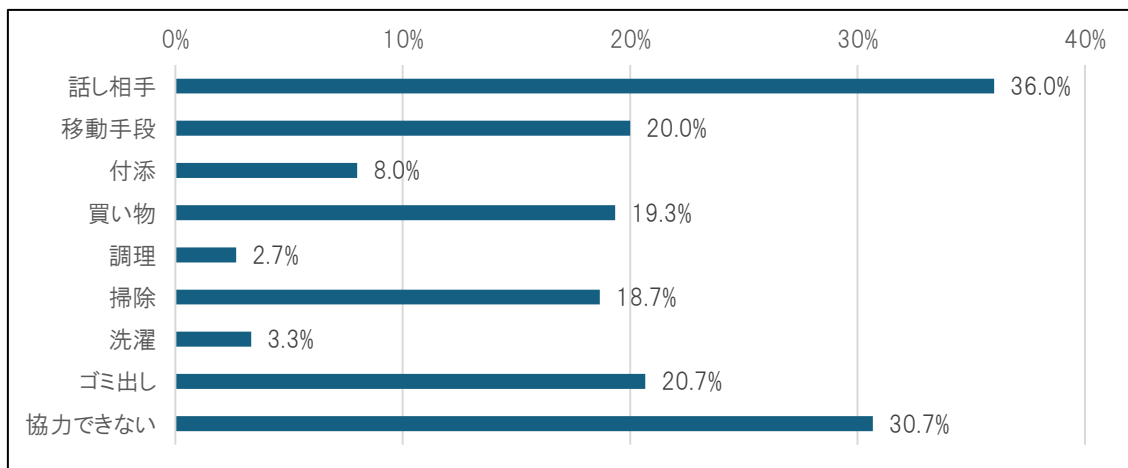
VI. 活動ニーズ

● 生活支援活動による健康づくりへの参加意欲



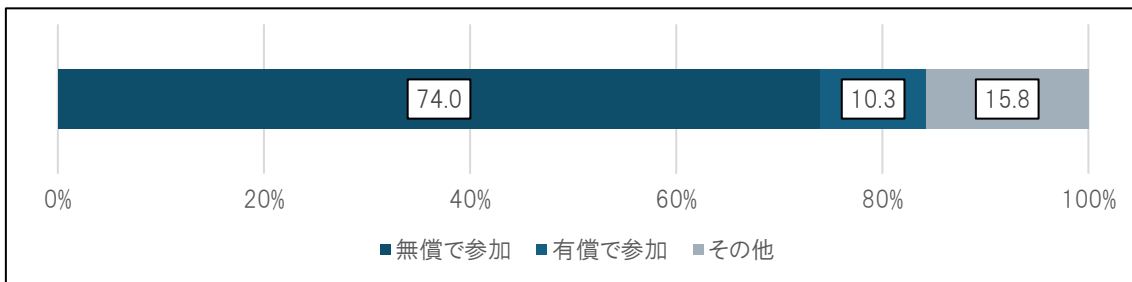
		度数	%	有効%	累積%
有効	とても思う	22	11.8	14.9	14.9
	まあ思う	66	35.3	44.6	59.5
	あまり思わない	53	28.3	35.8	95.3
	思わない	7	3.7	4.7	100.0
	合計	148	79.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	39	20.9		
合計		187	100.0		

● 生活支援活動として協力できること(複数回答)



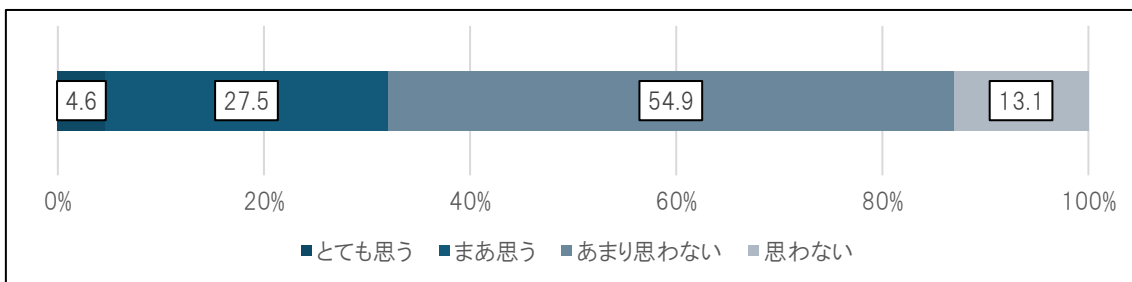
		度数	%	ケース%
協力できること	話し相手	54	22.6%	36.0%
	移動手段	30	12.6%	20.0%
	付添	12	5.0%	8.0%
	買い物	29	12.1%	19.3%
	調理	4	1.7%	2.7%
	掃除	28	11.7%	18.7%
	洗濯	5	2.1%	3.3%
	ゴミ出し	31	13.0%	20.7%
	協力できない	46	19.2%	30.7%
合計		239	100.0%	159.3%

● 生活支援活動に参加する場合の対価



		度数	%	有効%	累積%
有効	無償で参加	108	57.8	74.0	74.0
	有償で参加	15	8.0	10.3	84.2
	その他	23	12.3	15.8	100.0
合計		146	78.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	41	21.9		
合計		187	100.0		

● 結果報告会参加意向



		度数	%	有効%	累積%
有効	とても思う	7	3.7	4.6	4.6
	まあ思う	42	22.5	27.5	32.0
	あまり思わない	84	44.9	54.9	86.9
	思わない	20	10.7	13.1	100.0
合計		153	81.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	34	18.2		
合計		187	100.0		

VII. アンケートに関する意見・感想

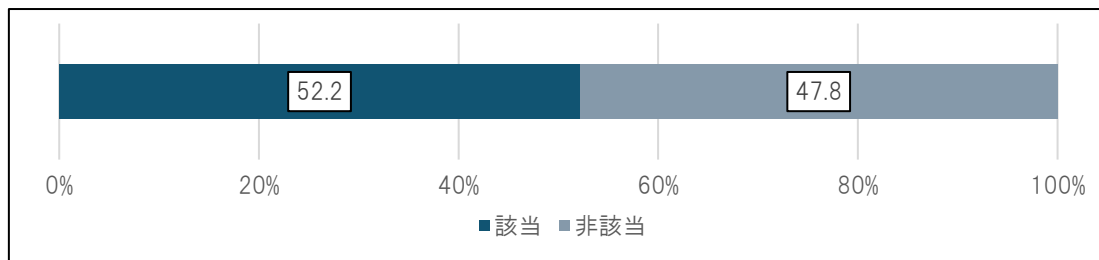
- ・ こういう調査初めてであり今後参加したい。
- ・ アンケートをして孤独死というのが連想しました。幸い、自分には同居している子や孫がいますが、新聞のお悔やみに友達の名前があり親族の方に聞いてみると孤独死でアパートの階段下で亡くなった人は誰かに発見してもらえるが、湯船につかったままの友達は水を吸い原型がわからないほどだった。また別の友達は畳の上でなくなっており、異臭がするとのことで警察が介入して発見された。いずれも独居の友人は発見が遅れてのことだった。もし自分がひとり暮らしであれば、長年住んだ家を離れるのか、施設かシェアハウスなども考える。あとは訪問看護や宅配弁当サービスを活用して生存確認を伝える。
- ・ 関節痛の痛みは病院に行ってプールで歩き家で筋トレをやっている。
- ・ 対価はその他で必要経費。
- ・ 対価は無償も有償も両方重要。
- ・ 現在は自分で車も運転し特に困ったこともなく過ごしています。自分で自分のことができなかったとき、どう過ごしたら快適な老後を送れるか模索しています。
- ・ ご苦労様です。研究頑張ってください。
- ・ ある多くの老人会組織では活動そのものが活発で老人が生き生きと参加して、人に支えられ人を支えたりしている地域がみられます。夏休みにはリタイアした元教員が公民館で勉強を教えたり、自由研究の支援を行い、子供たちの面倒をみています。また老人には月一次の食事会が計画され楽しみにしているシニアの方が多かったです。その上日々多くのサークル活動ありました。気軽に公民館に人々が集まり和気あいあいでした。しかし、この地域ではこういったことが見受けられず残念でなりません。地域に住んでいる人たちの顔も知りません。
- ・ 個々の地域は活動がみえないように思います。自治会に入っていないゆえかもしれませんが。
- ・ 耳が遠くなり集会場に行くのにおっくうになった。
- ・ 自治会に入れないため活動がわからない。閉鎖的な自治会をなくすべき。
- ・ 社会貢献、参加意向に関して「地域」と限定されると回答しづらいですが、地域も含めて範囲を広げて動いているので、社会貢献の1, 2, 3, 4についてはほぼ毎日のように動いており、空いた日には庭の手入れをしたりしています。自分の年齢がいくつか考えている余裕はないです。動ける間は私を必要とする比値のために私の貯めに頑張りたいです。自治会では婦人会(ほぼ同年代)模合で月 1 回集まり、お互いの近況や自治会内の情報を交換し合っています。
- ・ 家族が県外で暮らしていて、現在独居です。知人で体の不自由な方へ調理した食べ物を届けたりするのはボランティア活動として何年も続けています。家庭菜園で作った野菜などを友人へ届けたり、交流など忙しい毎日ですので、健康づくりには気を付けてウォーキングなど頑張っている生活しております。電話やメール等連絡は密に取り合っております。
- ・ 携帯電話など通して詐欺にひっかからないように気をつけていますが、不安な時もあります。でも携帯の便利さもあり助かっています。自分は家族と住んでいるので不審な電話は相談したりしますが、一人暮らしの人は大丈夫かなと心配になります。
- ・ 活動の対価は無償でも有償でも必要に応じて。
- ・ 老後は大切だと思っています。そのようなことを調べてくださって感謝します。知り合いはいませんが、そんなに頼めません。支援センターとかとても頼りにしています。家族も離れているの

で、他人のこともしたいのですが、仕事があつてとても忙しいです。

- ・ 今はすべて自分でできているので大丈夫です。しかしこのような状況になったら必要になってくると思います。その時になったら考えると思います。素晴らしい取り組みに感謝します。
- ・ 公営住宅の倍増、沖縄は所得が低く家賃が多く占める。自治会事務所、保育所、老人ホーム、集会所(大きなものではなく小さい建物を数多く)
- ・ 良い調査です。チバリヨー。
- ・ 通院するとき利用できるバス(便が少ない)やタクシー料金(特にタクシー)を安くしてほしい(シルバー割引など)
- ・ 活動に参加するのはむずかしい。
- ・ ふくちゃんバスなども仲井真あたりまで通してほしい。仲井真は那覇市ではないですよ。ご苦労様です。頑張ってください。
- ・ 個々人ではいろいろな立場があるが、本件のような単純な質問項目では把握できない状態が多くある。今は大丈夫だが、要介護状態になるか不安を抱えつつ生活年齢です。介護者になるか介護施設に入れるか。
- ・ (活動には)持病があり参加できません。
- ・ 持病があり参加できません。
- ・ 地域の行事や参加できる情報が全くわかりません。
- ・ 今は特に困っていることはないが、将来的に車が持てなくなったときに外出に困るのでは。この地域の交通手段、どうにかできないかと思います。
- ・ 仕事のため活動参加は無理。
- ・ 独居、老夫婦二人暮らし、生活に困っている方の支援について、対策を強く感じます。
- ・ 地域の方々との交流が全くありません。自分たちが都の自治会に属しているのかわかりません。まーいまーいケアサイクルシステムはとても良い仕組みだと思います。
- ・ 近所の高齢者の買い物のつきそいをしたことがあったのですが、すぐ御礼のお返しをされました。今は見守りをしています。近所で孤独死があったので気になっています。自分の人生の終わり方、延命治療と回廊のこととか元気なうちに家族と話し合っていた方がよい。意識もなく行かされている老人が多くなることに危機感を感じます。
- ・ (活動の対価は)お互い様券の配布など。
- ・ 地域高齢者のためにありがとう。自治会にはいいいているけど、世帯が少ない。隣近所との関係は大事。いつも一人だから寂しい。包括へは遠いから娘に行くなと言われた。

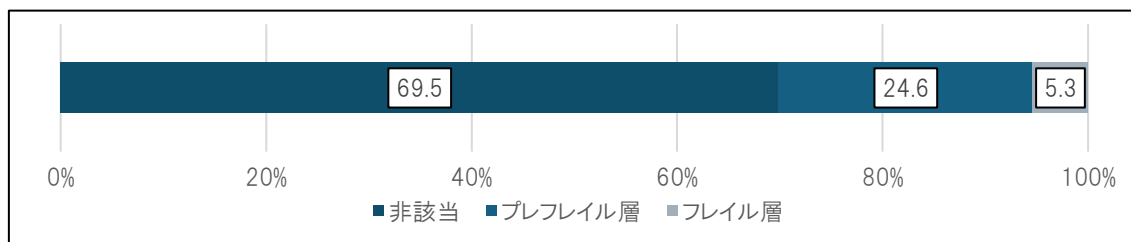
VIII. 生駒市モデル類型化とのクロス集計

● 事業対象者



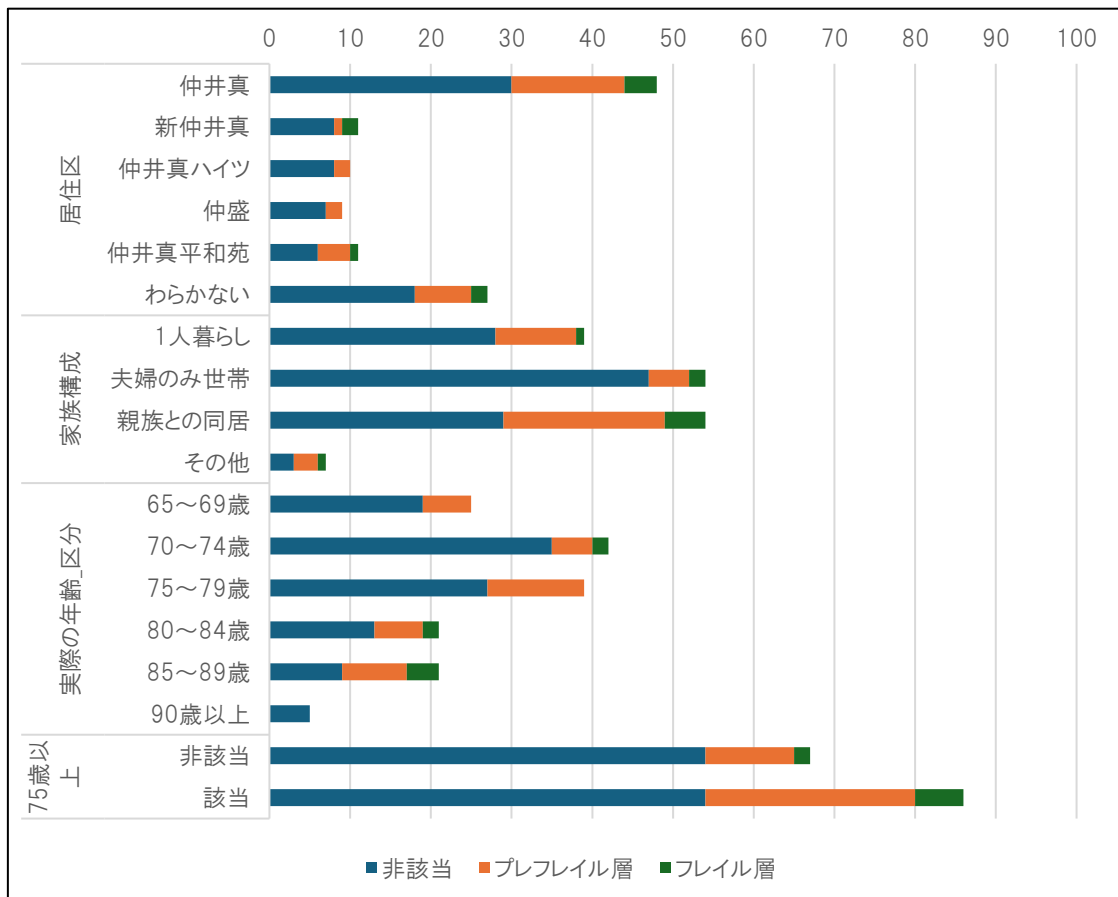
		度数	%	有効%	累積%
有効	該当	97	51.9	52.2	52.2
	非該当	89	47.6	47.8	100.0
	合計	186	99.5	100.0	
欠損値		1	0.5		
合計		187	100.0		

● 生駒市モデルでの類型化



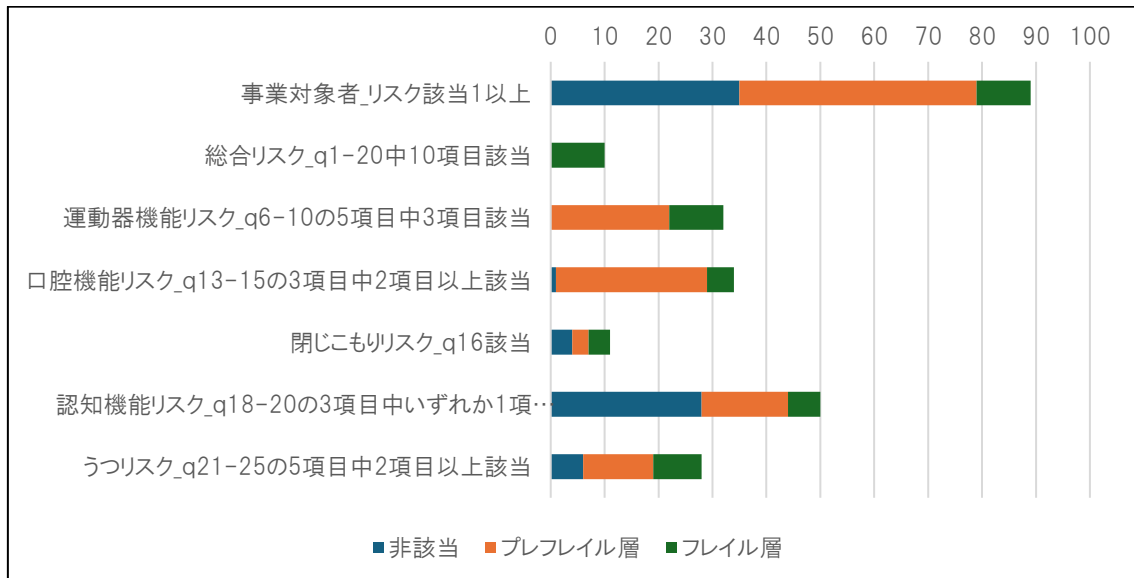
		度数	%	有効%	累積%
有効	非該当	130	69.5	69.5	69.5
	プレフレイル層	46	24.6	24.6	94.1
	フレイル層	10	5.3	5.3	99.5
	合計	186	99.5	100.0	
欠損値		1	0.5		
合計		187	100.0		

● 類型化×回答者属性



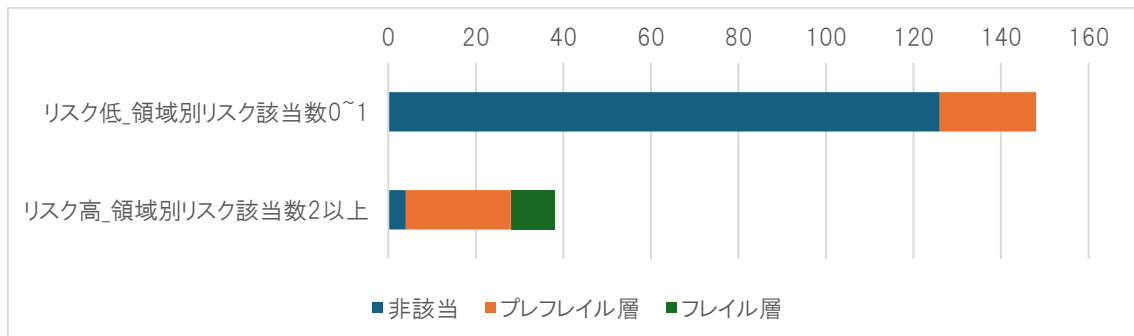
基本チェックリスト類型化×回答者属性		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
居住区	仲井真	30	14	4	48
	新仲井真	8	1	2	11
	仲井真ハイツ	8	2	0	10
	仲盛	7	2	0	9
	仲井真平和苑	6	4	1	11
	わからない	18	7	2	27
家族構成	1人暮らし	28	10	1	39
	夫婦のみ世帯	47	5	2	54
	親族との同居	29	20	5	54
	その他	3	3	1	7
実際の年齢_区分	65～69歳	19	6	0	25
	70～74歳	35	5	2	42
	75～79歳	27	12	0	39
	80～84歳	13	6	2	21
	85～89歳	9	8	4	21
	90歳以上	5	0	0	5
75歳以上	非該当	54	11	2	67
	該当	54	26	6	86

● 類型別にみた領域別リスク



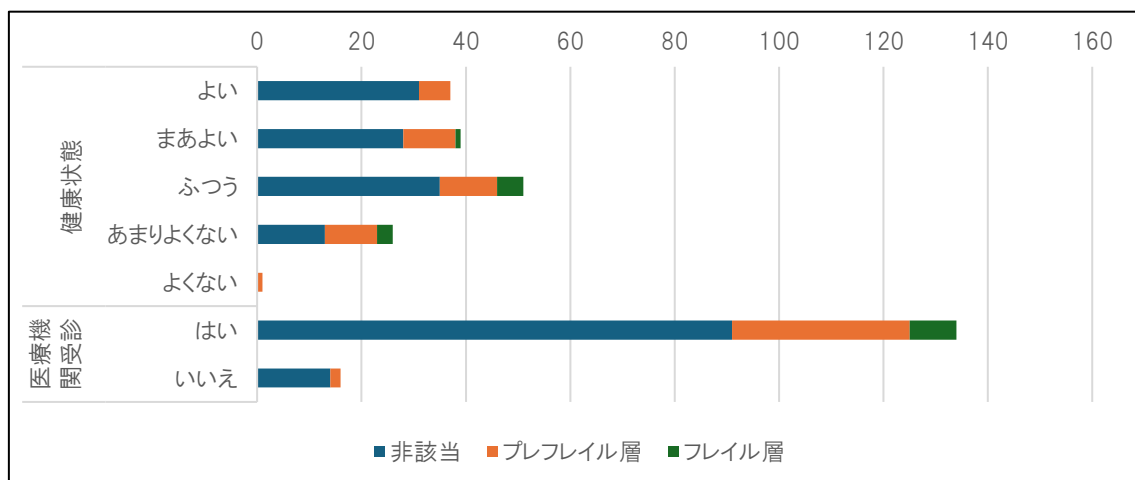
基本チェックリスト類型化	非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
事業対象者_リスク該当 1 以上	35	44	10	89
総合リスク_q1-20 中 10 項目該当	0	0	10	10
運動器機能リスク_q6-10 の 5 項目中 3 項目該当	0	22	10	32
口腔機能リスク_q13-15 の 3 項目中 2 項目以上該当	1	28	5	34
閉じこもりリスク_q16 該当	4	3	4	11
認知機能リスク_q18-20 の 3 項目中いずれか 1 項目該当	28	16	6	50
うつリスク_q21-25 の 5 項目中 2 項目以上該当	6	13	9	28

● 類型化×リスク高低



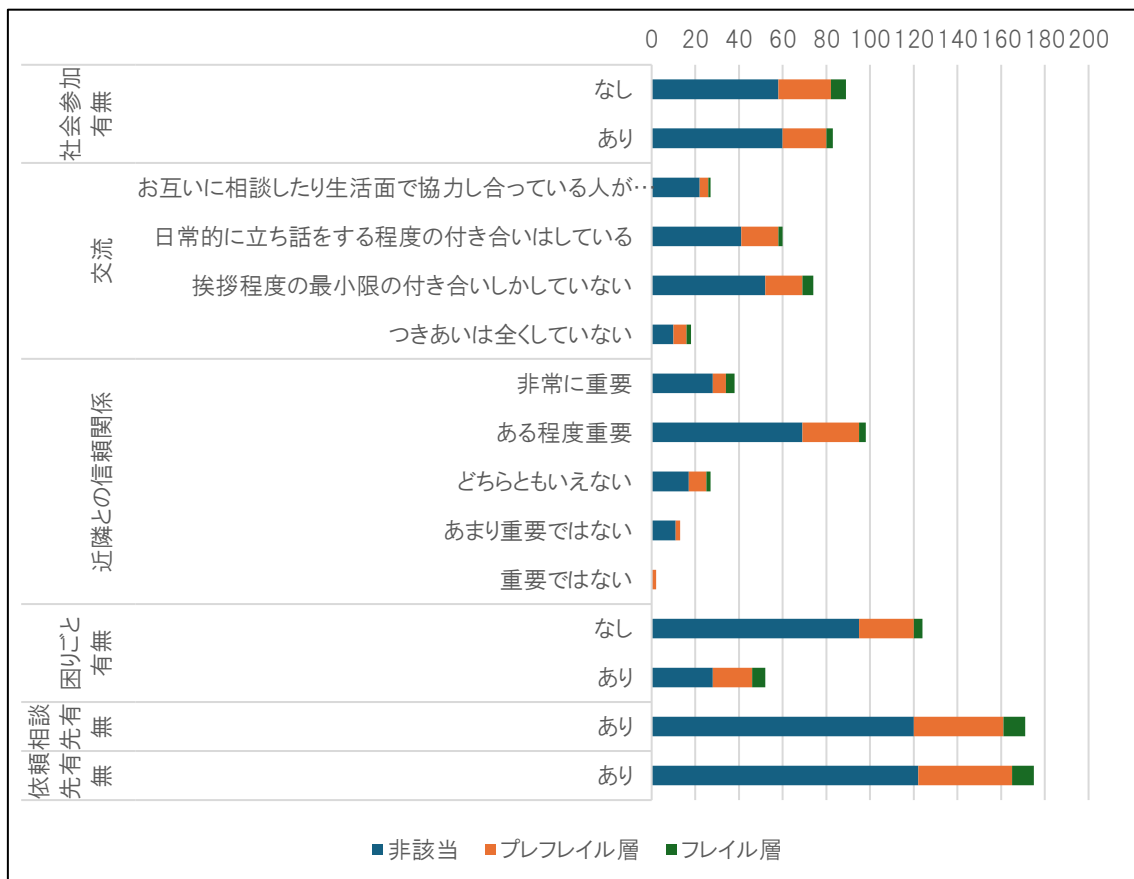
基本チェックリスト類型化	非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
リスク低_領域別リスク該当数 0~1	126	22	0	148
リスク高_領域別リスク該当数 2 以上	4	24	10	38

● 類型化×健康



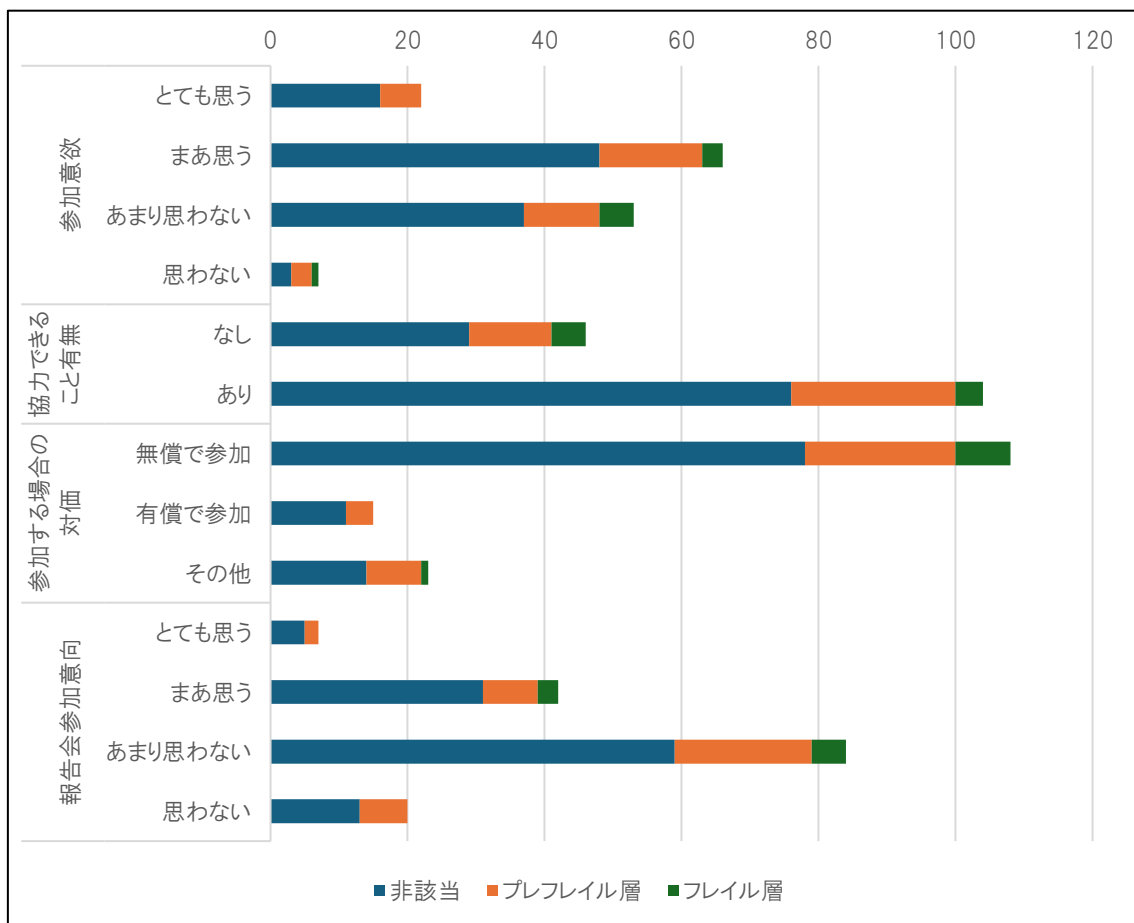
基本チェックリスト類型化×健康		プレフレイル層			合計
健康状態		非該当	プレフレイル層	フレイル層	
	よい	31	6	0	37
	まあよい	28	10	1	39
	ふつう	35	11	5	51
	あまりよくない	13	10	3	26
	よくない	0	1	0	1
医療機関受診	はい	91	34	9	134
	いいえ	14	2	0	16

● 類型化×社会関係



基本チェックリスト類型化×社会関係		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
社会参加有無	なし	58	24	7	89
	あり	60	20	3	83
交流	お互いに相談したり生活面で協力し合っている人がいる	22	4	1	27
	日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている	41	17	2	60
近隣との信頼関係	挨拶程度の最小限の付き合いしかしていない	52	17	5	74
	つきあいは全くしていない	10	6	2	18
困りごとと有無	非常に重要	28	6	4	38
	ある程度重要	69	26	3	98
相談先有無	どちらともいえない	17	8	2	27
	あまり重要ではない	11	2	0	13
依頼先有無	重要ではない	0	2	0	2
	なし	95	25	4	124
相談先有無	あり	28	18	6	52
	なし	120	41	10	171
依頼先有無	あり	122	43	10	175
	なし	0	0	0	0

● 類型化×活動ニーズ



基本チェックリスト類型化×活動ニーズ		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
参加意欲	とても思う	16	6	0	22
	まあ思う	48	15	3	66
	あまり思わない	37	11	5	53
	思わない	3	3	1	7
協力できること有無	なし	29	12	5	46
	あり	76	24	4	104
参加する場合の対価	無償で参加	78	22	8	108
	有償で参加	11	4	0	15
	その他	14	8	1	23
報告会参加意向	とても思う	5	2	0	7
	まあ思う	31	8	3	42
	あまり思わない	59	20	5	84
	思わない	13	7	0	20

「仲井真地区 65歳以上の支え合いによる健康づくり調査」

※本調査は那覇市まちづくり協働推進課「なはSDGs推進事業」の助成を受けて実施しています

この度、私ども株式会社大翔は、琉球大学田中将太研究室とともに、那覇市と那覇市地域包括支援センター国場のご協力のもと、下記のアンケート調査を実施することとなりました。

何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

1 調査の趣旨

本調査は、仲井真地区にお住いの65歳以上の皆さんが、「どんな支えがあると安心して生活できるか」、「どんな活動に興味があるか」、「どんなちょっとした困りごとが日常にあるか」を把握して、住み慣れた地域での支え合いづくりに役立てること（介護予防施策の検討や研究）を目的としています。

2 調査対象

令和7年12月1日時点において、仲井真地区にお住いの65歳以上で「要介護認定なし」の方が対象となります。

3 実施方法

調査票に記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてポストに投函ください。なお、回答にあたっては、ご本人にご回答頂くことを基本としますが、ご家族の方が一緒に回答することも差し支えございません。
調査票2部同封していますので世帯にお二人いらっしゃる方は、1人1部の記入をお願いいたします。

※お一人で回答、ポストへの投函が難しい場合、ご連絡いただければ、サポートに伺うことも可能です。

回答期限：令和7年12月26日（金）

尚、ご回答いただいたデータは、統計的に処理し、目的以外には使用しません。
調査票及び返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はございません。

【お問い合わせ先】

（回答にお手伝いが必要な方）

株式会社 大翔（おおしょう）

訪問介護事業所

那覇市仲井真 317-5 アクセス沖縄ビル 3階 **098-851-9312**

（調査についてのお問い合わせ）

琉球大学 人文社会学部 田中将太研究室 **098-895-8265**

■以下の質問1～25に「はい」か「いいえ」どちらかに○をつけて回答してください。

■必ずすべての項目に回答してください。

お住いの自治会 (○で囲む)	仲井真・新仲井真・仲井真ハイツ・仲盛・仲井真平和苑・わからない
-------------------	---------------------------------

	質 問		回 答	
社会生活	1	バス・電車等の公共機関を利用して1人で外出していますか。 (自家用車も含む)	はい	いいえ
	2	日用品の買い物をしていますか。 (必要な物品を間違いなく購入しているか)	はい	いいえ
	3	預貯金の出し入れをしていますか。 (本人の判断で、自らしているか)	はい	いいえ
	4	友人の家を訪ねていますか。 (電話による交流、家族や親戚への訪問は除く)	はい	いいえ
	5	家族や友人の相談にのっていますか。 (電話のみで相談に応じている場合も含む)	はい	いいえ
運動器の機能	6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	はい	いいえ
	7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	はい	いいえ
	8	15分位続けて歩いていますか。	はい	いいえ
	9	この1年間に転んだことがありますか。	はい	いいえ
	10	転倒に対する不安は大きいですか。	はい	いいえ
低栄養	11	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	はい	いいえ
	12	身長と体重をご記入ください。	身長 () cm 体重 () kg	
口腔の機能	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ
	14	お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ
	15	口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ
閉じこもり	16	週に1回以上は外出していますか。	はい	いいえ
	17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	はい	いいえ

(次項に続く)

	質 問		回 答	
物忘れ	18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか。	はい	いいえ
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	はい	いいえ
	20	今日が何月何日かわからない時がありますか。	はい	いいえ
こころの健康	21	（ここ 2 週間で）毎日の生活に充実感がない。	はい	いいえ
	22	（ここ 2 週間で）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	はい	いいえ
	23	（ここ 2 週間で）以前は楽に出来ていたことが今はおっくうに感じられる。	はい	いいえ
	24	（ここ 2 週間で）自分が役に立つ人間だと思えない。	はい	いいえ
	25	（ここ 2 週間で）わけもなく疲れたような感じがする。	はい	いいえ

■以下の質問にも回答してください。

	質 問	回 答
世帯	家族構成を教えてください。 （あてはまるもの 1 つに○）	1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ世帯 3 親族（子や孫など）との同居 4 その他（ ）
健康	健康状態はいかがですか。 （あてはまるもの 1 つに○）	1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない
	現在、医療機関にかかっていますか。 （あてはまるもの 1 つに○）	はい いいえ
	医療機関にかかっている病気で、該当するものは何ですか。 （あてはまるもの全てに○）	1 高血圧 2 脳卒中 3 心臓疾患 4 糖尿病 5 うつ 6 呼吸器疾患 7 骨折・関節痛などによる痛み 8 歯科疾患 9 その他（ ）
	あなたの「気持ちの年齢」は何歳ですか。 【例】「今 75 歳だが、気持ち的には 65 歳である」→ 気持ち年齢 65 歳	実際の年齢（ ）歳
		気持ち年齢（ ）歳

（次項に続く）

質 問		回 答
社会参加	あなたは現在、地域で右のような活動に参加していますか。 (あてはまるもの <u>全てに○</u>)	1 地縁的な活動（自治会、老人会など） 2 運動（体操教室、グラウンドゴルフなど） 3 趣味（俳句、絵画、カラオケなど） 4 ボランティア・NPO・市民活動 5 シルバー人材センター 6 就労（シルバー人材センター除く） 7 参加していない
交流	ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。 (あてはまるもの <u>1つに○</u>)	1 お互いに相談したり生活面で協力し合っている人がある 2 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている 3 挨拶程度の最小限の付き合いしかしていない 4 つきあいは全くしていない
信頼	日常生活において近隣の方との信頼関係はどの程度重要だと思いますか。 (あてはまるもの <u>1つに○</u>)	1 非常に重要 2 ある程度重要 3 どちらとも言えない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない
困りごと	次のうち、日常的に困っていることはありますか。 (あてはまるもの <u>全てに○</u>)	1 話し相手 2 外出時の移動手段 3 外出時のつきそい 4 買い物 5 調理 6 掃除 7 洗濯 8 ゴミ出し 9 困っていることはない
困りごと解決	困りごとに対し相談できる方はいますか。 (あてはまるもの <u>全てに○</u>)	1 家族（同居・別居） 2 友人 3 近所の人 4 包括支援センター 5 民生委員 6 その他（ ）
	困りごとを頼むとしたらどの方にお願ひしますか。 (あてはまるもの <u>全てに○</u>)	1 家族（同居・別居） 2 友人 3 近所の人 4 包括支援センター 5 民生委員 6 その他（ ）

(次項に続く)

質 問		回 答
社会貢献	次のうち、地域の方から頼まれて、協力できることはありますか。 (あてはまるもの <u>全て</u> に○)	1 話し相手 2 外出時の移動手段 3 外出時のつきそい 4 買い物 5 調理 6 掃除 7 洗濯 8 ゴミ出し 9 協力できることはない
	地域の困りごとを解決する活動は、健康づくりにも良いとされています。健康のために、上記のような活動に参加したいと思いますか。 (あてはまるもの <u>1つ</u> に○)	1 とても思う 2 まあ思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない
参加意向	活動に参加する場合の「対価」について教えてください。 (あてはまるもの <u>1つ</u> に○)	1 無償で参加 2 有償で参加 3 その他 ()
	アンケート調査結果について、報告会を予定しています。参加したいと思いますか。 (あてはまるもの <u>1つ</u> に○)	1 とても思う 2 まあ思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない

★もう一度、記入漏れがないかご確認ください

この調査について、ご意見や感想などありましたらお聞かせください

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

那覇市まちづくり協働推進課

令和7年度 なはSDGs推進助成事業

仲井真地区65歳以上の方対象

アンケート調査票 在中

差出人(助成団体)

株式会社 大翔(オオシヨウ)

仲井真317・5アクセス沖縄ビル3階

調査・研究協力機関

琉球大学 人文社会学部

田中 将太研究所

料金受取人払郵便

9 0 1 2 1 9 0

浦添支店
承認

2055

差出有効期間
令和8年1月
12日まで

〔 切手を貼らずに
お出してください 〕

〈アンケート回答在中〉

国立大学法人 琉球大学 人文社会学部
田中将太研究室行

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
文系学部棟 410室



那覇市まちづくり協働推進課
令和7年度 なはSDGs推進助成事業 採択プロジェクト

まーいまーいケアサイクル

～歩いて行ける生活のお手伝い～



健康と誇りを

できる!

を仕事に

地域みんなが主役

助け合いの“仕事”で“健康づくり”が生活の一部に

ごあいさつ

みなさん、こんにちは。

「まーいまーいケアサイクル」は、那覇市仲井真小学校区に限定した地域の”お互い様”の心をもう一度つなげる取り組みとして生まれました。

「まーいまーい」の”巡り巡って”という意味。

かつてのように、顔の見えるご近所づきあいが自然と生まれるように

「声かけあう安心」をもう一度取り戻したい。そんな思いが込められています。

この仕組みは、地域の高齢者や住民の皆様が”担い手”として活躍する

「歩いて行ける生活援助」＝徒歩圏内での支え合いを目指します。

支援をする人も、支援を受ける人も、どちらも地域の大切な仲間。

お互いがつながり、支え合うことで

やさしさがめぐる地域社会を皆様とともに築いていきたいと思ひます。

現在全国的にも介護の人手不足問題が深刻化。

けれども私たちは思ひます。

「介護は”特別な人だけ”がすることではない」

「地域の中に”支える力”がたくさん眠っている」

この地域に暮らすお一人おひとりが、小さなかわりを通して誰かの支え手になること。

その「人とのつながり」「今自分にできること」こそが、

最大の介護予防であり、地域の力になるのです。

この地域、この家で出来る限り暮らしていききたい。

その思ひを共に作り上げていきます。

ぜひ地域の為、自分自身の為本プロジェクトに興味がある、参加してみたいと思ひの方は下記の問い合わせにご連絡ください。

要支援1・2の方の生活援助

生活圏域内の掃除・洗濯・食事の準備、買い物代行など必要な家事のみを行う生活援助支援。

養成講習3日間受講後、仕事として活動できます。

地域の力でつなく介護予防とくらしの支援 SDGs達成に向けた地域共生社会モデルの提案

株式会社 大翔(オオショウ)

那覇市仲井真317-5アクセス沖縄3F

訪問介護事業所

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



お問い合わせ

098-851-9312

担当：赤嶺

居住区 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
居住区	仲井真	度数	30	14	4	48
		居住区 の %	62. 5%	29. 2%	8. 3%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	39. 0%	46. 7%	44. 4%	41. 4%
	新仲井真	度数	8	1	2	11
		居住区 の %	72. 7%	9. 1%	18. 2%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	10. 4%	3. 3%	22. 2%	9. 5%
	仲井真ハイツ	度数	8	2	0	10
		居住区 の %	80. 0%	20. 0%	0. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	10. 4%	6. 7%	0. 0%	8. 6%
	仲盛	度数	7	2	0	9
		居住区 の %	77. 8%	22. 2%	0. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	9. 1%	6. 7%	0. 0%	7. 8%
	仲井真平和苑	度数	6	4	1	11
		居住区 の %	54. 5%	36. 4%	9. 1%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	7. 8%	13. 3%	11. 1%	9. 5%
	わからない	度数	18	7	2	27
		居住区 の %	66. 7%	25. 9%	7. 4%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	23. 4%	23. 3%	22. 2%	23. 3%
合計	度数	77	30	9	116	
	居住区 の %	66. 4%	25. 9%	7. 8%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

家族構成 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
家族構成	1人暮らし	度数	28	10	1	39
		家族構成 の %	71. 8%	25. 6%	2. 6%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	26. 2%	26. 3%	11. 1%	25. 3%
	夫婦のみ世帯	度数	47	5	2	54
		家族構成 の %	87. 0%	9. 3%	3. 7%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	43. 9%	13. 2%	22. 2%	35. 1%
	親族との同居	度数	29	20	5	54
		家族構成 の %	53. 7%	37. 0%	9. 3%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	27. 1%	52. 6%	55. 6%	35. 1%
	その他	度数	3	3	1	7
		家族構成 の %	42. 9%	42. 9%	14. 3%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	2. 8%	7. 9%	11. 1%	4. 5%
合計	度数	107	38	9	154	
	家族構成 の %	69. 5%	24. 7%	5. 8%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

実際の年齢_区分 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
実際の年齢_区分	65～69歳	度数	19	6	0	25
		実際の年齢_区分 の %	76.0%	24.0%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	17.6%	16.2%	0.0%	16.3%
	70～74歳	度数	35	5	2	42
		実際の年齢_区分 の %	83.3%	11.9%	4.8%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	32.4%	13.5%	25.0%	27.5%
	75～79歳	度数	27	12	0	39
		実際の年齢_区分 の %	69.2%	30.8%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	25.0%	32.4%	0.0%	25.5%
	80～84歳	度数	13	6	2	21
		実際の年齢_区分 の %	61.9%	28.6%	9.5%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	12.0%	16.2%	25.0%	13.7%
	85～89歳	度数	9	8	4	21
		実際の年齢_区分 の %	42.9%	38.1%	19.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	8.3%	21.6%	50.0%	13.7%
	90歳以上	度数	5	0	0	5
		実際の年齢_区分 の %	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	4.6%	0.0%	0.0%	3.3%
合計	度数	108	37	8	153	
	実際の年齢_区分 の %	70.6%	24.2%	5.2%	100.0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

75歳以上 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
75歳以上	非該当	度数	54	11	2	67
		75歳以上 の %	80. 6%	16. 4%	3. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	50. 0%	29. 7%	25. 0%	43. 8%
	該当	度数	54	26	6	86
		75歳以上 の %	62. 8%	30. 2%	7. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	50. 0%	70. 3%	75. 0%	56. 2%
合計	度数	108	37	8	153	
	75歳以上 の %	70. 6%	24. 2%	5. 2%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

健康状態 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			合計
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	
健康状態	よい	度数	31	6	0	37
		健康状態 の %	83.8%	16.2%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	29.0%	15.8%	0.0%	24.0%
	まあよい	度数	28	10	1	39
		健康状態 の %	71.8%	25.6%	2.6%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	26.2%	26.3%	11.1%	25.3%
	ふつう	度数	35	11	5	51
		健康状態 の %	68.6%	21.6%	9.8%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	32.7%	28.9%	55.6%	33.1%
	あまりよくない	度数	13	10	3	26
		健康状態 の %	50.0%	38.5%	11.5%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	12.1%	26.3%	33.3%	16.9%
	よくない	度数	0	1	0	1
		健康状態 の %	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	0.0%	2.6%	0.0%	0.6%
合計	度数		107	38	9	154
	健康状態 の %		69.5%	24.7%	5.8%	100.0%
	基本チェックリスト類型化 の %		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

医療機関受診 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			合計
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	
医療機関受診	はい	度数	91	34	9	134
		医療機関受診 の %	67.9%	25.4%	6.7%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	86.7%	94.4%	100.0%	89.3%
	いいえ	度数	14	2	0	16
		医療機関受診 の %	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	13.3%	5.6%	0.0%	10.7%
合計	度数		105	36	9	150
	医療機関受診 の %		70.0%	24.0%	6.0%	100.0%
	基本チェックリスト類型化 の %		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

\$疾病*類型化 クロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
\$疾病 ^a	高血圧	度数	65	20	4	89
		\$疾病 の %	73.0%	22.5%	4.5%	
		類型化 の %	67.7%	57.1%	44.4%	
	心臓疾患	度数	14	2	3	19
		\$疾病 の %	73.7%	10.5%	15.8%	
		類型化 の %	14.6%	5.7%	33.3%	
	糖尿病	度数	16	8	4	28
		\$疾病 の %	57.1%	28.6%	14.3%	
		類型化 の %	16.7%	22.9%	44.4%	
	うつ	度数	2	0	0	2
		\$疾病 の %	100.0%	0.0%	0.0%	
		類型化 の %	2.1%	0.0%	0.0%	
	呼吸器疾患	度数	4	0	1	5
		\$疾病 の %	80.0%	0.0%	20.0%	
		類型化 の %	4.2%	0.0%	11.1%	
	骨折関節痛	度数	14	11	2	27
		\$疾病 の %	51.9%	40.7%	7.4%	
		類型化 の %	14.6%	31.4%	22.2%	
	歯科疾患	度数	22	10	3	35
		\$疾病 の %	62.9%	28.6%	8.6%	
		類型化 の %	22.9%	28.6%	33.3%	
	その他	度数	21	6	3	30
		\$疾病 の %	70.0%	20.0%	10.0%	
		類型化 の %	21.9%	17.1%	33.3%	
合計		度数	96	35	9	140

社会参加有無_2群 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			合計
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	
社会参加有無_2群	なし	度数	58	24	7	89
		社会参加有無_2群 の	65. 2%	27. 0%	7. 9%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	49. 2%	54. 5%	70. 0%	51. 7%
	あり	度数	60	20	3	83
		社会参加有無_2群 の	72. 3%	24. 1%	3. 6%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	50. 8%	45. 5%	30. 0%	48. 3%
合計	度数		118	44	10	172
	社会参加有無_2群 の		68. 6%	25. 6%	5. 8%	100. 0%
	基本チェックリスト類型化 の %		100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%

\$社会参加*類型化 クロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
\$社会参加 ^a	地縁活動	度数	31	6	2	39
		\$社会参加 の %	79. 5%	15. 4%	5. 1%	
		類型化 の %	26. 3%	13. 6%	20. 0%	
	運動	度数	23	9	1	33
		\$社会参加 の %	69. 7%	27. 3%	3. 0%	
		類型化 の %	19. 5%	20. 5%	10. 0%	
	趣味	度数	22	4	1	27
		\$社会参加 の %	81. 5%	14. 8%	3. 7%	
		類型化 の %	18. 6%	9. 1%	10. 0%	
	ボランティア	度数	11	2	0	13
		\$社会参加 の %	84. 6%	15. 4%	0. 0%	
		類型化 の %	9. 3%	4. 5%	0. 0%	
	シルバー人材	度数	2	0	0	2
		\$社会参加 の %	100. 0%	0. 0%	0. 0%	
		類型化 の %	1. 7%	0. 0%	0. 0%	
	就労	度数	10	5	0	15
		\$社会参加 の %	66. 7%	33. 3%	0. 0%	
		類型化 の %	8. 5%	11. 4%	0. 0%	
	参加なし	度数	58	24	7	89
		\$社会参加 の %	65. 2%	27. 0%	7. 9%	
		類型化 の %	49. 2%	54. 5%	70. 0%	
合計	度数	118	44	10	172	

交流 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

		基本チェックリスト類型化				
		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計	
交流	お互いに相談したり生活面で協力し合っている人がいる	度数	22	4	1	27
		交流 の %	81. 5%	14. 8%	3. 7%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	17. 6%	9. 1%	10. 0%	15. 1%
	日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている	度数	41	17	2	60
		交流 の %	68. 3%	28. 3%	3. 3%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	32. 8%	38. 6%	20. 0%	33. 5%
	挨拶程度の最小限の付き合いしかしていない	度数	52	17	5	74
		交流 の %	70. 3%	23. 0%	6. 8%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	41. 6%	38. 6%	50. 0%	41. 3%
	つきあいは全くしていない	度数	10	6	2	18
		交流 の %	55. 6%	33. 3%	11. 1%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	8. 0%	13. 6%	20. 0%	10. 1%
合計	度数	125	44	10	179	
	交流 の %	69. 8%	24. 6%	5. 6%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

近隣との信頼関係 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
近隣との信頼関係	非常に重要	度数	28	6	4	38
		近隣との信頼関係 の	73.7%	15.8%	10.5%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	22.4%	13.6%	44.4%	21.3%
	ある程度重要	度数	69	26	3	98
		近隣との信頼関係 の	70.4%	26.5%	3.1%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	55.2%	59.1%	33.3%	55.1%
	どちらともいえない	度数	17	8	2	27
		近隣との信頼関係 の	63.0%	29.6%	7.4%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	13.6%	18.2%	22.2%	15.2%
	あまり重要ではない	度数	11	2	0	13
		近隣との信頼関係 の	84.6%	15.4%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	8.8%	4.5%	0.0%	7.3%
	重要ではない	度数	0	2	0	2
		近隣との信頼関係 の	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	0.0%	4.5%	0.0%	1.1%
合計	度数	125	44	9	178	
	近隣との信頼関係 の	70.2%	24.7%	5.1%	100.0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

困りごとと有無_2群 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
困りごとと有無_2群	なし	度数	95	25	4	124
		困りごとと有無_2群 の	76.6%	20.2%	3.2%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	77.2%	58.1%	40.0%	70.5%
	あり	度数	28	18	6	52
		困りごとと有無_2群 の	53.8%	34.6%	11.5%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	22.8%	41.9%	60.0%	29.5%
合計	度数	123	43	10	176	
	困りごとと有無_2群 の	69.9%	24.4%	5.7%	100.0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

\$困りごと*類型化 クロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
\$困りごと ^a	話し相手	度数	12	6	1	19
		\$困りごと の %	63.2%	31.6%	5.3%	
		類型化 の %	9.8%	14.0%	10.0%	
	移動手段	度数	9	9	4	22
		\$困りごと の %	40.9%	40.9%	18.2%	
		類型化 の %	7.3%	20.9%	40.0%	
	付添	度数	2	2	2	6
		\$困りごと の %	33.3%	33.3%	33.3%	
		類型化 の %	1.6%	4.7%	20.0%	
	買い物	度数	6	5	3	14
		\$困りごと の %	42.9%	35.7%	21.4%	
		類型化 の %	4.9%	11.6%	30.0%	
	調理	度数	3	7	2	12
		\$困りごと の %	25.0%	58.3%	16.7%	
		類型化 の %	2.4%	16.3%	20.0%	
	掃除	度数	6	8	2	16
		\$困りごと の %	37.5%	50.0%	12.5%	
		類型化 の %	4.9%	18.6%	20.0%	
	洗濯	度数	1	2	1	4
		\$困りごと の %	25.0%	50.0%	25.0%	
		類型化 の %	0.8%	4.7%	10.0%	
	ゴミ出し	度数	1	4	2	7
		\$困りごと の %	14.3%	57.1%	28.6%	
		類型化 の %	0.8%	9.3%	20.0%	
	困ってない	度数	95	25	4	124
		\$困りごと の %	76.6%	20.2%	3.2%	
		類型化 の %	77.2%	58.1%	40.0%	
合計		度数	123	43	10	176

相談先有無_2群 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
相談先有無_2群	あり	度数	120	41	10	171
		相談先有無_2群 の %	70. 2%	24. 0%	5. 8%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%
合計		度数	120	41	10	171
		相談先有無_2群 の %	70. 2%	24. 0%	5. 8%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%

\$相談先*類型化 クロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
\$相談先 ^a	家族	度数	107	37	10	154
		\$相談先 の %	69. 5%	24. 0%	6. 5%	
		類型化 の %	89. 2%	92. 5%	100. 0%	
	友人	度数	59	11	0	70
		\$相談先 の %	84. 3%	15. 7%	0. 0%	
		類型化 の %	49. 2%	27. 5%	0. 0%	
	近隣	度数	15	4	0	19
		\$相談先 の %	78. 9%	21. 1%	0. 0%	
		類型化 の %	12. 5%	10. 0%	0. 0%	
	包括	度数	4	3	1	8
		\$相談先 の %	50. 0%	37. 5%	12. 5%	
		類型化 の %	3. 3%	7. 5%	10. 0%	
	他	度数	6	1	0	7
		\$相談先 の %	85. 7%	14. 3%	0. 0%	
		類型化 の %	5. 0%	2. 5%	0. 0%	
合計		度数	120	40	10	170

依頼先有無_2群 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

		基本チェックリスト類型化				
		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計	
依頼先有無_2群	あり	度数	122	43	10	175
		依頼先有無_2群 の %	69. 7%	24. 6%	5. 7%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%
合計		度数	122	43	10	175
		依頼先有無_2群 の %	69. 7%	24. 6%	5. 7%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%

\$依頼先*類型化 クロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
\$依頼先 ^a	家族	度数	115	36	10	161
		\$依頼先 の %	71. 4%	22. 4%	6. 2%	
		類型化 の %	94. 3%	83. 7%	100. 0%	
	友人	度数	51	5	0	56
		\$依頼先 の %	91. 1%	8. 9%	0. 0%	
		類型化 の %	41. 8%	11. 6%	0. 0%	
	近隣	度数	7	4	0	11
		\$依頼先 の %	63. 6%	36. 4%	0. 0%	
		類型化 の %	5. 7%	9. 3%	0. 0%	
	包括	度数	3	6	1	10
		\$依頼先 の %	30. 0%	60. 0%	10. 0%	
		類型化 の %	2. 5%	14. 0%	10. 0%	
	民生委員	度数	1	1	0	2
		\$依頼先 の %	50. 0%	50. 0%	0. 0%	
		類型化 の %	0. 8%	2. 3%	0. 0%	
	他	度数	4	1	0	5
		\$依頼先 の %	80. 0%	20. 0%	0. 0%	
		類型化 の %	3. 3%	2. 3%	0. 0%	
合計		度数	122	43	10	175

協力できること有無_2群 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			合計
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	
協力できること有無_2群	なし	度数	29	12	5	46
		協力できること有無_2群 の %	63.0%	26.1%	10.9%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	27.6%	33.3%	55.6%	30.7%
	あり	度数	76	24	4	104
		協力できること有無_2群 の %	73.1%	23.1%	3.8%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	72.4%	66.7%	44.4%	69.3%
	合計	度数	105	36	9	150
		協力できること有無_2群 の %	70.0%	24.0%	6.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

\$協力できること*類型化 クロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
\$協力できること ^a	話し相手	度数	36	15	3	54
		\$協力できること の %	66.7%	27.8%	5.6%	
		類型化 の %	34.3%	41.7%	33.3%	
	移動手段	度数	21	7	2	30
		\$協力できること の %	70.0%	23.3%	6.7%	
		類型化 の %	20.0%	19.4%	22.2%	
	付添	度数	7	3	2	12
		\$協力できること の %	58.3%	25.0%	16.7%	
		類型化 の %	6.7%	8.3%	22.2%	
	買い物	度数	24	5	0	29
		\$協力できること の %	82.8%	17.2%	0.0%	
		類型化 の %	22.9%	13.9%	0.0%	
	調理	度数	3	1	0	4
		\$協力できること の %	75.0%	25.0%	0.0%	
		類型化 の %	2.9%	2.8%	0.0%	
	掃除	度数	22	6	0	28
		\$協力できること の %	78.6%	21.4%	0.0%	
		類型化 の %	21.0%	16.7%	0.0%	
	洗濯	度数	3	2	0	5
		\$協力できること の %	60.0%	40.0%	0.0%	
		類型化 の %	2.9%	5.6%	0.0%	
	ゴミ出し	度数	25	6	0	31
		\$協力できること の %	80.6%	19.4%	0.0%	
		類型化 の %	23.8%	16.7%	0.0%	
	協力できない	度数	29	12	5	46
		\$協力できること の %	63.0%	26.1%	10.9%	
		類型化 の %	27.6%	33.3%	55.6%	
合計		度数	105	36	9	150

参加意欲 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
参加意欲	とても思う	度数	16	6	0	22
		参加意欲 の %	72. 7%	27. 3%	0. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	15. 4%	17. 1%	0. 0%	14. 9%
	まあ思う	度数	48	15	3	66
		参加意欲 の %	72. 7%	22. 7%	4. 5%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	46. 2%	42. 9%	33. 3%	44. 6%
	あまり思わない	度数	37	11	5	53
		参加意欲 の %	69. 8%	20. 8%	9. 4%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	35. 6%	31. 4%	55. 6%	35. 8%
	思わない	度数	3	3	1	7
		参加意欲 の %	42. 9%	42. 9%	14. 3%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	2. 9%	8. 6%	11. 1%	4. 7%
合計	度数	104	35	9	148	
	参加意欲 の %	70. 3%	23. 6%	6. 1%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

参加する場合の対価 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
参加する場合の対価	無償で参加	度数	78	22	8	108
		参加する場合の対価	72. 2%	20. 4%	7. 4%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	75. 7%	64. 7%	88. 9%	74. 0%
	有償で参加	度数	11	4	0	15
		参加する場合の対価	73. 3%	26. 7%	0. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	10. 7%	11. 8%	0. 0%	10. 3%
	その他	度数	14	8	1	23
		参加する場合の対価	60. 9%	34. 8%	4. 3%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	13. 6%	23. 5%	11. 1%	15. 8%
合計	度数	103	34	9	146	
	参加する場合の対価	70. 5%	23. 3%	6. 2%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

調査結果報告会参加意向 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
調査結果報告会参加意向	とても思う	度数	5	2	0	7
		調査結果報告会参加意向 の %	71.4%	28.6%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	4.6%	5.4%	0.0%	4.6%
	まあ思う	度数	31	8	3	42
		調査結果報告会参加意向 の %	73.8%	19.0%	7.1%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	28.7%	21.6%	37.5%	27.5%
	あまり思わない	度数	59	20	5	84
		調査結果報告会参加意向 の %	70.2%	23.8%	6.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	54.6%	54.1%	62.5%	54.9%
	思わない	度数	13	7	0	20
		調査結果報告会参加意向 の %	65.0%	35.0%	0.0%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	12.0%	18.9%	0.0%	13.1%
合計	度数	108	37	8	153	
	調査結果報告会参加意向 の %	70.6%	24.2%	5.2%	100.0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

総合リスク_q 1-20中10項目該当 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
総合リスク_q 1-20中10項目該当	非該当	度数	125	46	0	171
		総合リスク_q 1-20中10項目該当 の %	73. 1%	26. 9%	0. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	0. 0%	94. 5%
	該当	度数	0	0	10	10
		総合リスク_q 1-20中10項目該当 の %	0. 0%	0. 0%	100. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	0. 0%	0. 0%	100. 0%	5. 5%
合計	度数	125	46	10	181	
	総合リスク_q 1-20中10項目該当 の %	69. 1%	25. 4%	5. 5%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

運動器機能リスク_q 6-10の5項目中3項目該当 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

		基本チェックリスト類型化				
		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計	
運動器機能リスク_q 6-10の5項目 中3項目該当	非該当	度数	125	24	0	149
		運動器機能リスク_q 6-10の5項目中3項目該 当 の %	83. 9%	16. 1%	0. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類 型化 の %	100. 0%	52. 2%	0. 0%	82. 3%
	該当	度数	0	22	10	32
		運動器機能リスク_q 6-10の5項目中3項目該 当 の %	0. 0%	68. 8%	31. 3%	100. 0%
		基本チェックリスト類 型化 の %	0. 0%	47. 8%	100. 0%	17. 7%
合計		度数	125	46	10	181
		運動器機能リスク_q 6-10の5項目中3項目該 当 の %	69. 1%	25. 4%	5. 5%	100. 0%
		基本チェックリスト類 型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%

低栄養リスク_q11該当 かつ BMI<18.5 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
低栄養リスク_q11該当 かつ BMI<18.5	非該当	度数	118	46	9	173
		低栄養リスク_q11該当 かつ BMI<18.5 の %	68.2%	26.6%	5.2%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	118	46	9	173
		低栄養リスク_q11該当 かつ BMI<18.5 の %	68.2%	26.6%	5.2%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

口腔機能リスク_q13-15の3項目中2項目以上該当 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

		基本チェックリスト類型化				
		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計	
口腔機能リスク_q13-15の3項目中 2項目以上該当	非該当	度数	124	18	5	147
		口腔機能リスク_q13-15の3項目中2項目以上 該当 の %	84.4%	12.2%	3.4%	100.0%
		基本チェックリスト類 型化 の %	99.2%	39.1%	50.0%	81.2%
		該当	度数	1	28	5
		口腔機能リスク_q13-15の3項目中2項目以上 該当 の %	2.9%	82.4%	14.7%	100.0%
		基本チェックリスト類 型化 の %	0.8%	60.9%	50.0%	18.8%
合計	度数	125	46	10	181	
	口腔機能リスク_q13-15の3項目中2項目以上 該当 の %	69.1%	25.4%	5.5%	100.0%	
	基本チェックリスト類 型化 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

閉じこもりリスク_q16該当 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

			基本チェックリスト類型化			
			非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計
閉じこもりリスク_q16該当	非該当	度数	120	43	6	169
		閉じこもりリスク_q16該当 の %	71.0%	25.4%	3.6%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	96.8%	93.5%	60.0%	93.9%
	該当	度数	4	3	4	11
		閉じこもりリスク_q16該当 の %	36.4%	27.3%	36.4%	100.0%
		基本チェックリスト類型化 の %	3.2%	6.5%	40.0%	6.1%
合計	度数		124	46	10	180
	閉じこもりリスク_q16該当 の %		68.9%	25.6%	5.6%	100.0%
	基本チェックリスト類型化 の %		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

認知機能リスク_q18-20の3項目中いずれか1項目該当 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

		基本チェックリスト類型化				
		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計	
認知機能リスク_q 18-20の3項目中 いずれか1項目該当	度数	79	22	3	104	
	認知機能リスク_q 18-20の3項目中いずれか1項目該当 の %	76. 0%	21. 2%	2. 9%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	73. 8%	57. 9%	33. 3%	67. 5%	
	該当	度数	28	16	6	50
	認知機能リスク_q 18-20の3項目中いずれか1項目該当 の %	56. 0%	32. 0%	12. 0%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	26. 2%	42. 1%	66. 7%	32. 5%	
合計	度数	107	38	9	154	
	認知機能リスク_q 18-20の3項目中いずれか1項目該当 の %	69. 5%	24. 7%	5. 8%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

うつリスク_q 21-25の5項目中2項目以上該当 と 基本チェックリスト類型化 のクロス表

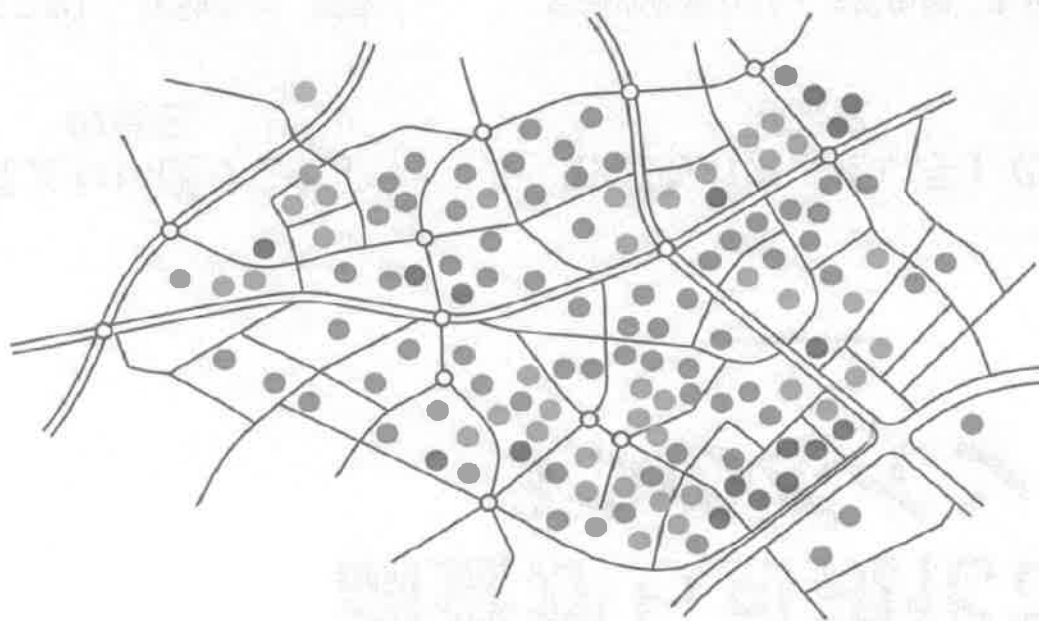
		基本チェックリスト類型化				
		非該当	プレフレイル層	フレイル層	合計	
うつリスク_q 21-25の5項目中2項目以上該当	非該当	度数	101	25	0	126
		うつリスク_q 21-25の5項目中2項目以上該当の %	80. 2%	19. 8%	0. 0%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	94. 4%	65. 8%	0. 0%	81. 8%
	該当	度数	6	13	9	28
		うつリスク_q 21-25の5項目中2項目以上該当の %	21. 4%	46. 4%	32. 1%	100. 0%
		基本チェックリスト類型化 の %	5. 6%	34. 2%	100. 0%	18. 2%
合計	度数	107	38	9	154	
	うつリスク_q 21-25の5項目中2項目以上該当の %	69. 5%	24. 7%	5. 8%	100. 0%	
	基本チェックリスト類型化 の %	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

令和8年1月30日 | 沖縄県那覇市国場包括圏域

仲井真地区 高齢者生活支援・社会参加ニーズ調査報告書

認定予備軍に潜む「生活課題」と「参加の種」の可視化

高齢者を地域資源として再定義する調査



琉球大学 人文社会学部
准教授 田中将太



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

調査から可視化された 3つのポイント

1. 「見えない困りごと」 の实在

掃除・ゴミ出し・移動など、認定を受けていない層であっても、自立生活の維持に不可欠な「小さな困りごと」が実在する。

2. 埋もれた「担い手」の 可能性

支援が必要なリスク層の中にも社会参加や他者支援への意欲を持つ者が存在する。「支えられる側」への固定化を防ぐカギとなる。

3. 生駒市モデルの有効性

高齢者を「元気か/要介護か」の二元論ではなく、「非該当・プレ・フレイル」の階層化で、介入すべきターゲット層（全体の約25%）が明確化した。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

制度の狭間にある潜在ニーズを捕捉

これまでの視点（制度中心）

認定審査の「対象外」とされた人の実態が見えない。

焦点：介護保険サービスの対象となるか（認定審査）

対象：顕在化したニーズを持つもの

結果：「非該当」とされた人の生活実態は見えにくくなる。対象（状態の進行・悪化）となるまで、直接的関与がない。

本調査の視点（予防・参加中心）

認定以前の「生活のゆらぎ」と「活動意欲」に焦点を当て、未来の支援・参加へ繋げる。

焦点：認定以前の段階にある「生活の揺らぎ」と「活動意欲」

対象：要支援・要介護認定を受けていない65歳以上

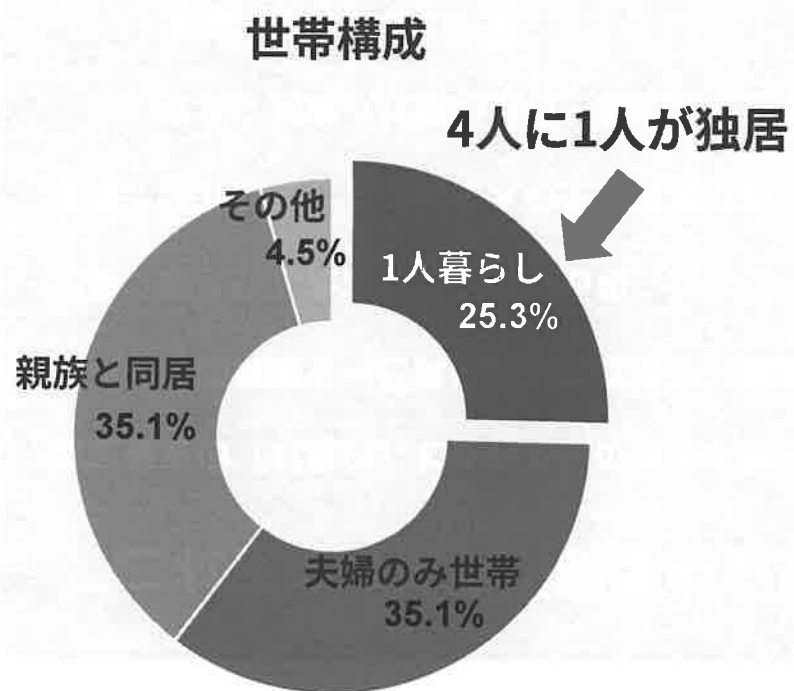
目的：将来的な孤立の芽を摘み、地域資源としての可能性を発掘する。

「現在のサービス利用状況」ではなく、
「未来の支援・参加につながる可能性」を図る調査



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

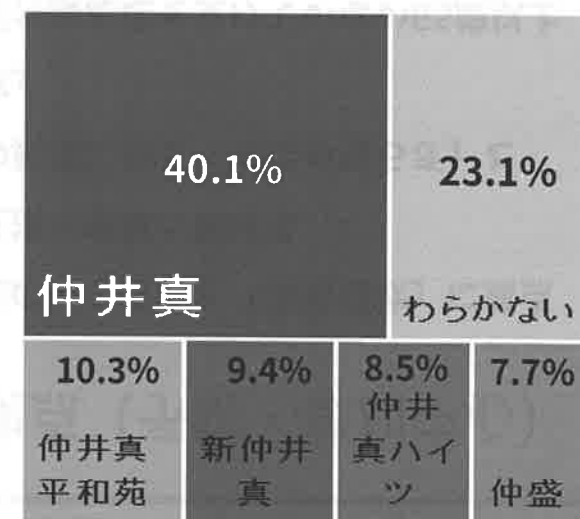
回答者の属性：2割が独居、地域社会との接点が生命線



年齢構成

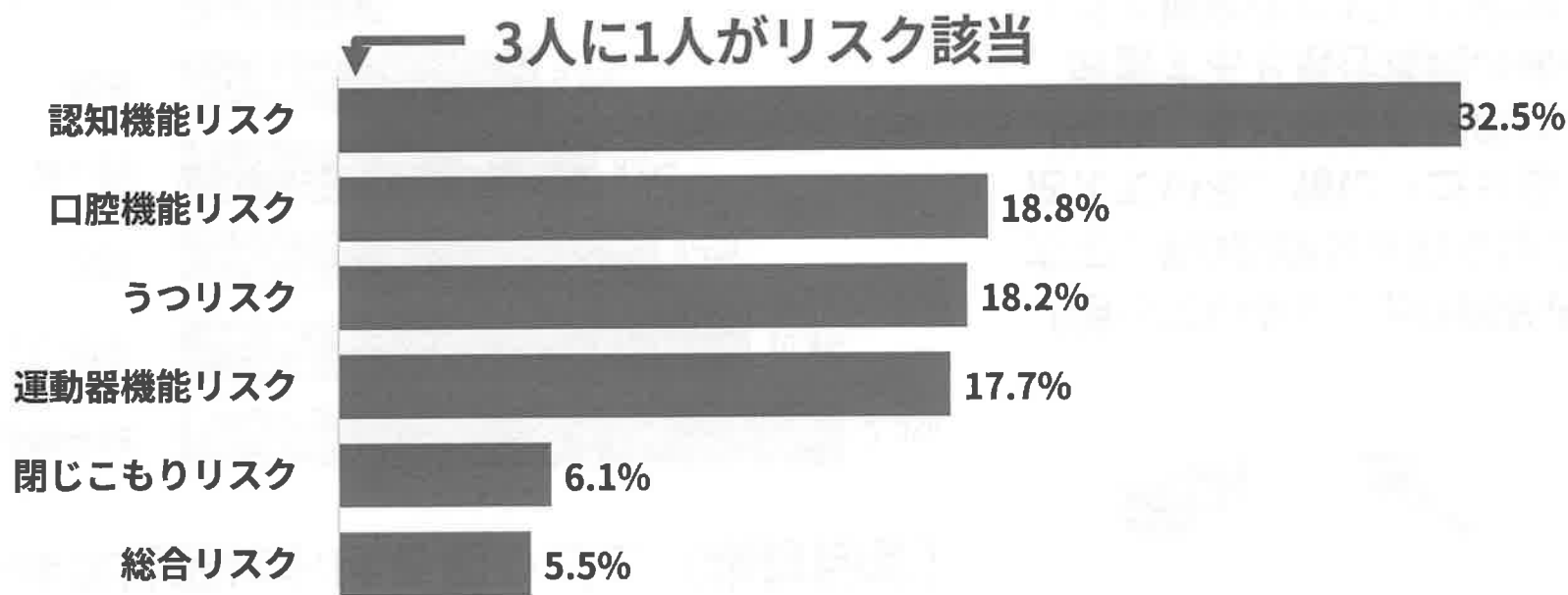


居住区



身体機能よりも「認知機能」に潜む高いリスク

基本チェックリストによるリスク該当率



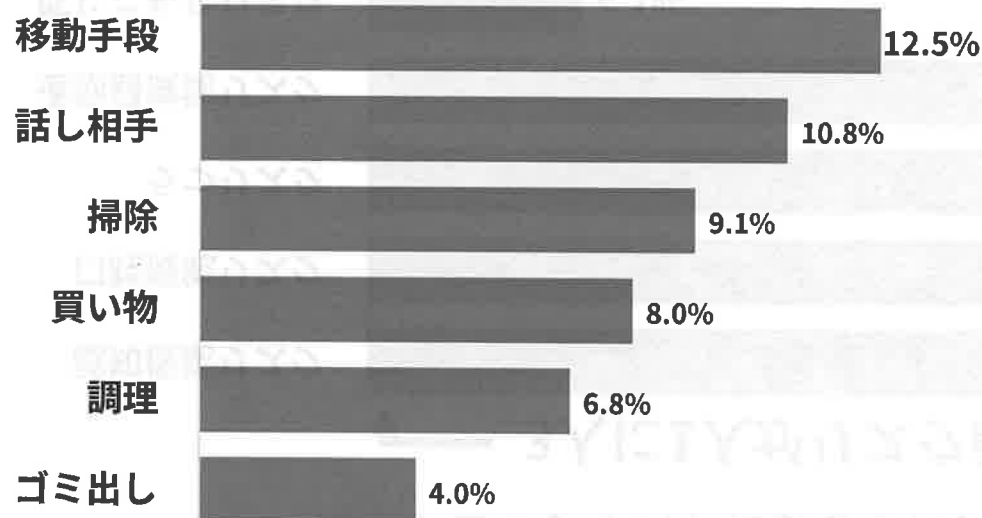
身体的な虚弱（総合リスク5.5%）と比較して、認知機能低下の聴講（32.5%）が極めて高い。目に見えにくい「認知フレイル」への早期アプローチが急務



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

自立生活を脅かすのは「小さな生活課題」の負担

仲井真地区における困りごと（複数回答）

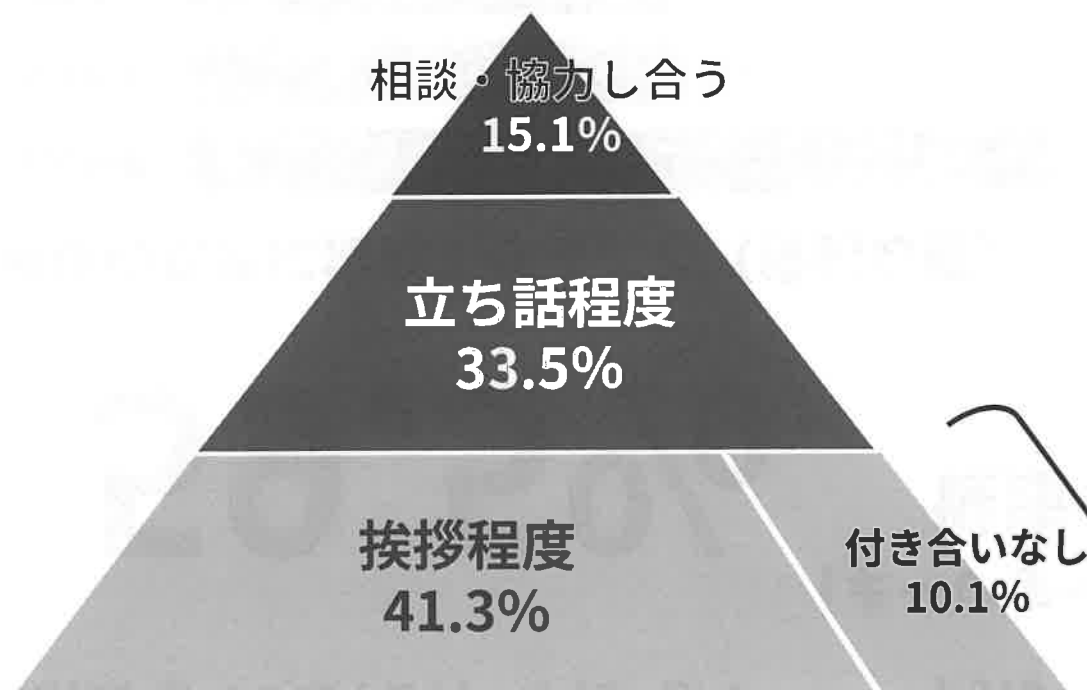


「困っていない」が7割を占める一方で、約3割が具体的な生活課題を抱えている。特に「ゴミ出し」「掃除」などの家事援助ニーズは、放置すると居住環境の悪化（ゴミ屋敷化など）に直結する。



社会的孤立の予兆：「挨拶のみ」の関係が4割を超える

近所付き合い（社会的交流）



困りごとの相談先



近隣への依存度は1割未満

半数以上が、緊急時に頼れる
近隣ネットワークを持っていない



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

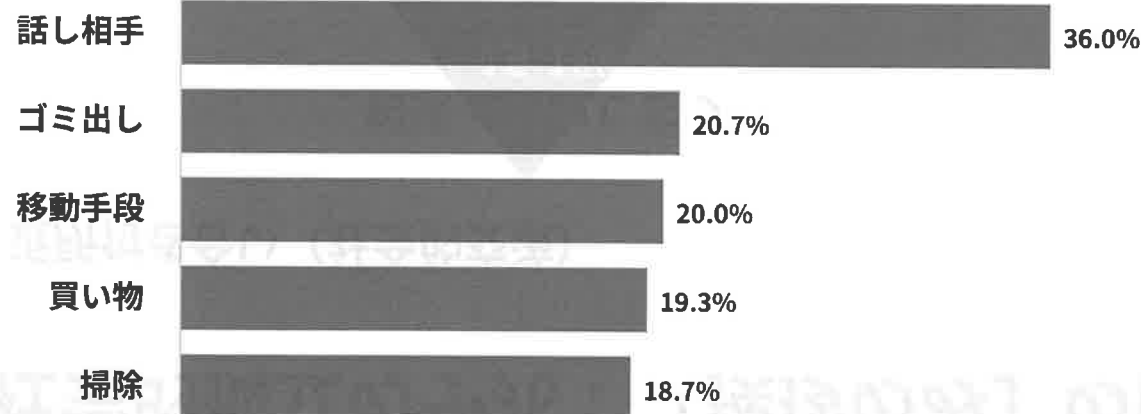
支援されるだけではない：「何かしたい」という潜在的意欲

59.5%

【まーいまーいケアサイクル構想】

健康づくりの活動に参加したい
(とても思う+まあ思う)

地域のために協力できること（役割の種）

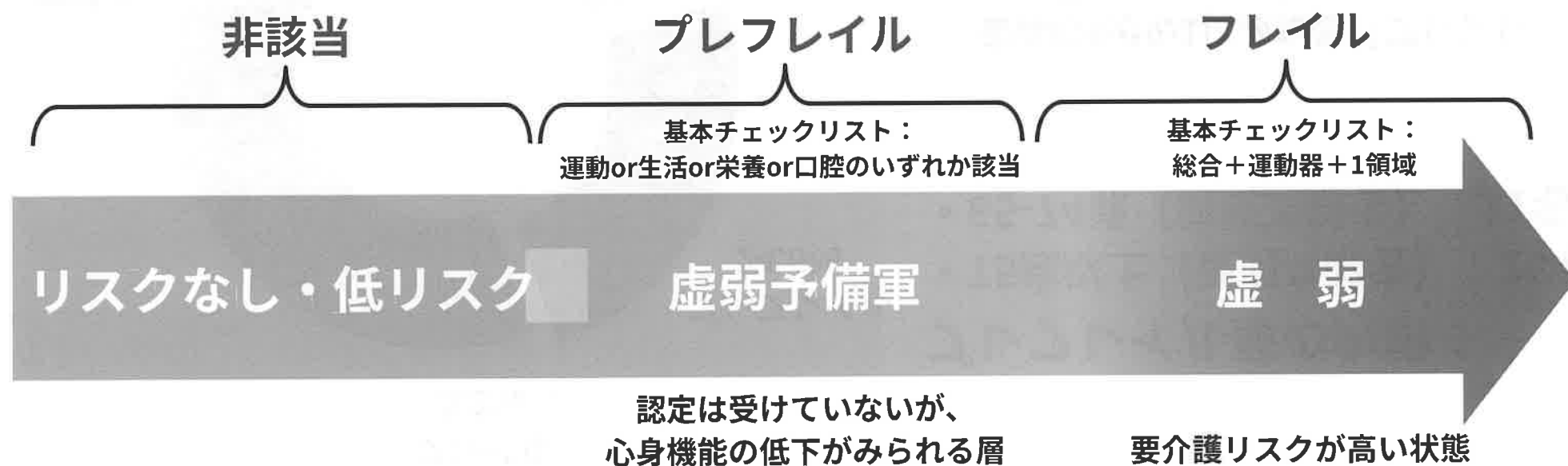


「協力できない」は30.7%のみ。
約7割は何らかの形で地域への
貢献意欲を持っている。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

分析視点の転換： 「生駒市モデル」による3層の可視化

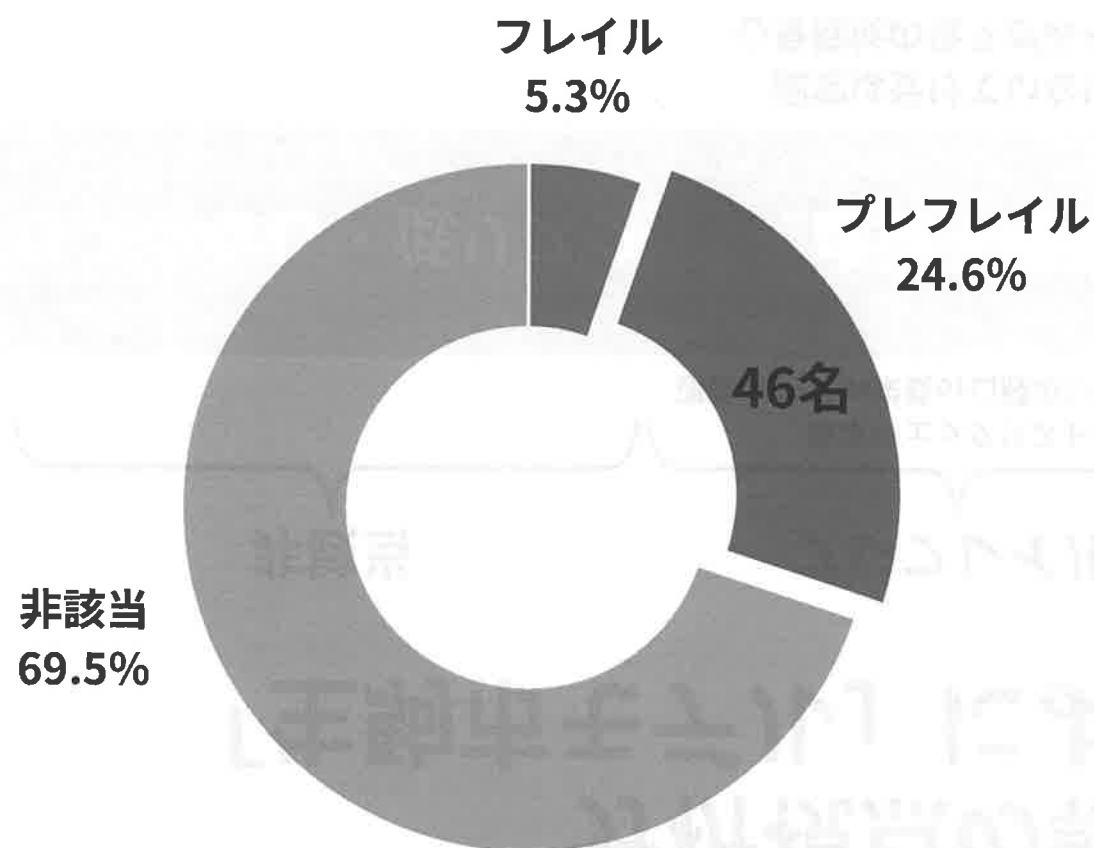


「支援の必要性」と「活動の可能性」をグラデーション（連続体）として捉える。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

地域の25%が「プレフレイル」段階にある



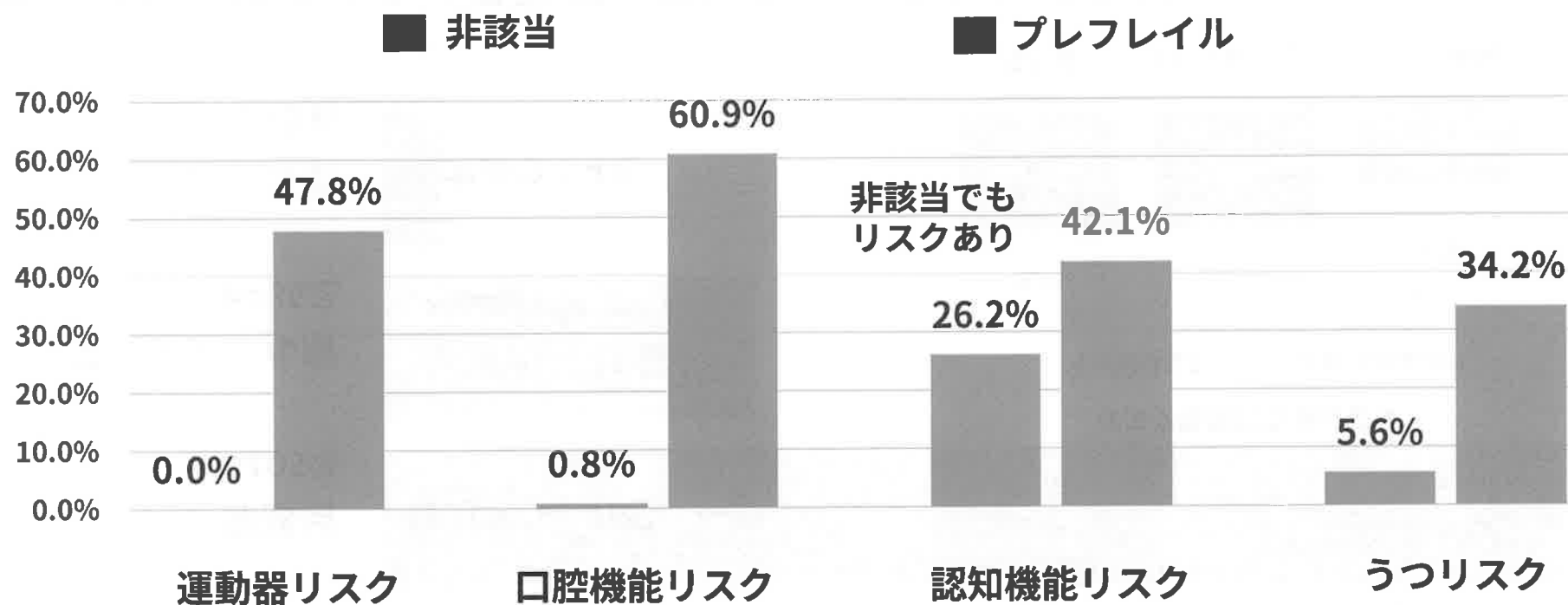
プレフレイル層の内訳：

- ・ 75歳以上（後期高齢者）：26名
- ・ 65-74歳（前期高齢者）：11名

全体の4分の1にあたる「プレフレイル層」への早期介入が、将来の要介護者像を食い止める防波堤となる。



プレフレイル層で急増する「運動・口腔・認知・うつ」リスク



プレフレイル層は、まだ介護認定は受けていないが、具体的な機能低下リスクが顕在化している。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

支援が必要な層も「支え手」になり得る

リスク階層別の具体的に協力できること（社会参加ポテンシャル）

非該当
n=105名

協力あり：76名

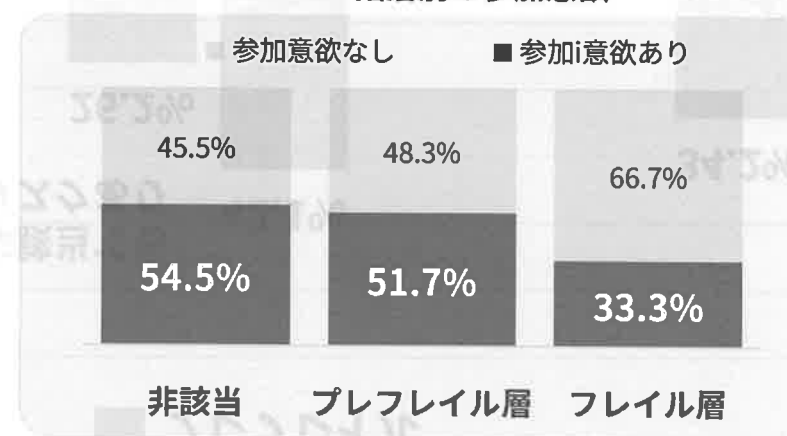
プレフレイル層
n=36名

協力あり：24名
(層全体の過半数)

フレイル層
n=9名

協力あり：4名

リスク階層別の参加意欲



「フレイル＝守られるべき弱者」ではない。彼らの「役割を持ちたい」という意欲を活かすこと自体が、最高のリハビリテーションであり、リエイブルメントになる。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

数字の背後にある「地域の肉声」

孤立への不安

「孤独死という言葉が連想される…もし自分がひとり暮らしであれば施設も考える。」

「いつも一人だから寂しい。包括へは遠いから娘に会いに行くと言われた。」

貢献への意欲

「動ける間は私を必要とする人のために頑張りたい。」

「今は見守りをしています。」

つながりの欠如

「地域の方々との交流が全くありません。」

「自治会に入っていないため活動がわからない。」



「役割の可変性」を組み込んだ地域ケアモデルへ

まーいまーいケアサイクル



固定的な「援助者 VS 受益者」の関係の固定化ではなく、その日の体調や状況に応じて、役割が変化する「お互い様」のシステムを構築する。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

2年目以降のロードマップ：実践と検証の往還

1

小規模試行

養成研修の最適化
生活支援サービス（ゴミ出し等）の
スモールスタート。
プレフレイル層を巻き込む。

2

担い手の実装

「有償ボランティア」や「ボランティア
アポイント制度」など、インセンティ
ブ設計を含めた仕組みづくり。

3

効果検証

「参加」がどのように「生活機能維持」
に寄与したか、データを蓄積し検証。

調査から実践へ。データが示した「互助の種」を育てるフェーズへ。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

参考：調査方法及びデータ妥当性について

■ 調査実施概要

配布手法： 地区内全戸ポスティング（約2,000通）

- ・ 行政提供の名簿によらず、包括協力のもと、地区全体を網羅的にアウトリーチ。
- ・ 1世帯につき2名分を同封し、夫婦世帯等の回答漏れを防止。

調査対象： 65歳以上の要介護認定未申請者および事業対象者

母集団数：842名（地域包括支援センター照会値）

■ 回収結果とデータの信頼性

本調査で得られた回答は、地区全体の傾向を推察するのに十分な精度を有している。

項目	数値	備考
回答者数	187名	回収189名から不備等2名を除外（年齢対象外、回答不備）
有効回収率	22.2%	対母集団（842名）比
許容誤差	±6.34%	信頼水準95%における算出値

【評価】

- ・ 統計学的に、小規模な地域調査において「誤差10%以内」は良好な精度とされる。
- ・ 本調査の誤差6.3%はこれを大きくクリアしており、「地区全体のニーズを概ね正確に反映したデータと判断できる。
- ・ ポスティング総数（2,000通）に対する回収率は約9.4%となるが、これは分母に対象外世帯（65歳未満のみの世帯等）を多数含むためであり、実質的な対象者に対する捕捉率は、上記の通り22.2%に達している。



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

下記の連絡先までお気軽にお問合せください。

国立大学法人 琉球大学
人文社会学部 田中将太研究室

 tanakash@cs.u-ryukyu.ac.jp



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

地域調査

日時：11月17日火曜日

自治会名：仲井真ハイツ自治会

会長名：金城会長

地域全体の印象・変化

1. 地域のつながりや雰囲気は、ここ数年でどのように変化しましたか？

52年前に自治会が出来た。

公民館は地域の人たちでお金を出し合って購入した
現在若手がいなく、役員は高齢化してきている。

2. 高齢者が増えてきた実感はありますか？

75世帯あるが、半分は80歳以上の方が住んでいる。

3. 「一人で頑張っている家庭」が増えている印象はありますか？

80歳代独居は3世帯。老夫婦のみ世帯は6～7世帯ある
その他は子供達と住んでいて大丈夫と思う。

生活援助のニーズ

4. 地域の中で、生活援助（買い物、掃除など）が必要な方は増えていますか？

必要としていると思うが、近くに住む兄弟や、まだ運転できる方たちもいるので今のところは大丈夫と思う。

5. 特に多い困りごとはどのような内容ですか？

相談がない

6. その困りごとは、自治会として対応できる範囲ですか？

相談がない

移動・外出の課題

7. 健康づくりや外出の機会は、住民の中でどれくらいありますか

第2. 3. 4木曜日14:00～15:30 公民館にてミニデイを社協が運営してくれている。

人数は12～13名ほど。しかしだんだん減ってきている。

自治会のイベントで年に一回バスツアーを運営しており、去年は車イスの方2名連れて首里城見学に行った。

8. 「歩いて行ける範囲で助ける仕組み」に対する地域ニーズをどう感じますか？

現在2名独居で高齢なため心配な方はいる。

65歳以上の住民の“担い手参加”に関する意識

9. 65歳以上の方々は、地域活動や見守りに協力的な印象ですか？
1人元看護師70代の方がいてミニデイの手伝いや地域の方たちの世話役をしている。
10. 65歳以上の方が「誰かの役に立ちたい」という思いはありますか？
表立ってやりたいという人はいないが、必要であればみんな動いてくれると思う。
10. 参加が難しい要因（体力、土地柄など）はありますか？
坂が多い。また、子供世代は希薄だと思う。
11. 「歩いていける距離なら手伝える」という声はありますか？
前回円卓会議のチラシをみんなに見せたが、反応が薄かった。

健康づくり×役割参加の可能性

12. 高齢者が外に出るきっかけ（散歩、行事など）はどれくらいありますか？
ミニデイ月3回、バスツアー年1回、ふるさと祭り年1回
13. 活動を通して元気になる事例や、逆に引きこもりの事例はありますか？
特に感じないがミニデイ参加率が下がってきている。
14. 「困ったときに助ける文化」は残っていますか？
祭りの時などは自然とみんなで助け合っている。
15. 実際に、住民同士で小さな助け合いをしている事例があれば教えてください
近くの親族に頼っていて地域の人に助けを出している人はいないと思う。
16. 若い世代・子育て世代の地域参加はどの程度ありますか？
祭りなどは、地域の子供たちや親御さんも参加している。

まーいまーいケアサイクルへの期待・懸念

17. 「住民全員が担い手になる仕組み」についてどのように感じますか？
自治会立ち上げ世代は顔見知りで隣近所助け合っていたが、子供達世代は希薄になっていてわからない。
18. 自治会として協力しやすい点、難しい点があれば教えてください。
公民館の利用や住民に報告は可能。ミニデイにも参加してもよい。
19. 自治会が連携した場合、どのような効果が期待できますか？
特に効果はわからない。
20. 懸念や心配事がありますか？（負担・誤解・時間・責任など）
今は地域の高齢の方元気だが、5年後などを想像すると心配事はある。

地域調査

日時：11月20日木曜日

自治会名：上間長崎原自治会

会長名：島袋 政浩会長

地域全体の印象・変化

1. 地域のつながりや雰囲気は、ここ数年でどのように変化しましたか？
以前は敬老会などしていたがコロナを境に集まる機会がなくなった。
現在会長自ら敬老会の代わりに地域の高齢者の方にお菓子など届けている。
かなり希薄になった。
自治会区域40世帯あるが自治体加入している世帯は12世帯のみ。
2. 高齢者が増えてきた実感はありますか？
自治会加入世帯のうち65歳以上世帯は2世帯。残りは70歳以上
3. 「一人で頑張っている家庭」が増えている印象はありますか？
ほとんど高齢者世帯で各々で頑張っている。

生活援助のニーズ

4. 地域の中で、生活援助（買い物、掃除など）が必要な方は増えていますか？
必要な方いるけど週に一回二回子供たちなどが行っている。
5. 特に多い困りごとはどのような内容ですか？
道路のごみや草狩りをよく依頼される。
6. その困りごとは、自治会として対応できる範囲ですか？
出来るときにやっている。

移動・外出の課題

7. 健康づくりや外出の機会は、住民の中でどれくらいありますか？
自治会で取り組んでいることはない。まーいまーい NAHA でデイサービスしているからそこに行っていると思う。
8. 「歩いて行ける範囲で助ける仕組み」に対する地域ニーズをどう感じますか？
あるかもしれない。

65歳以上の住民の“担い手参加”に関する意識

9. 65歳以上の方々は、地域活動や見守りに協力的な印象ですか？
以前は助け合いがあった。でも今は関り事態がない。
自治会に入る方が少ない。年間6,000円だがそれすらも払えないと抜ける方が増えた。

10. 65歳以上の方が「誰かの役に立ちたい」という思いはありますか？

全員の意思はわからないが自分はやるよ。

11. 参加が難しい要因（体力、土地柄など）はありますか？

そもそも地域の人とあまりコミュニケーションが取れないからわからない。

12. 「歩いていける距離なら手伝える」という声はありますか？

健康づくり×役割参加の可能性

13. 高齢者が外に出るきっかけ（散歩、行事など）はどれくらいありますか？

自治会の行事や取り組みがない。

14. 活動を通して元気になる事例や、逆に引きこもりの事例はありますか？

15. 「困ったときに助ける文化」は残っていますか？

お願いしてみないとわからない。

16. 実際に、住民同士で小さな助け合いをしている事例があれば教えてください

17. 若い世代・子育て世代の地域参加はどの程度ありますか？

アパートがあって自治会加盟の手紙など出すけどなかなか加盟してくれない。

まーいまーいケアサイクルへの期待・懸念

18. 「住民全員が担い手になる仕組み」についてどのように感じますか？

みんなやるかはわからない。でも自分（島袋会長）はやるよ

19. 自治会として協力しやすい点、難しい点があれば教えてください。

自治会のみんなに知らせることとかは出来る。

20. 自治会が連携した場合、どのような効果が期待できますか？

あまり人がいないから力になれるかわからない。

21. 懸念や心配事がありますか？（負担・誤解・時間・責任など）

現在自治会の役員はみんな高齢化していて跡継ぎがない。

自治会長25年務めていて、そろそろ80歳になるから自分自身が心配。

第 4 回 全体会・勉強会

仲井真小学校区まちづくり協議会

【日 時】 令和 8 年 1 月 27 日(火) 19:00～21:00

【場 所】 まーいまーい Naha 2 階ホール

会長挨拶・・・仲地政英

【全体会】 19:00～19:20

1. 報 告・協 議 事 項

① 花いっぱい運動について

- 日時：2 月 22 日(日) 9:00～11:00
- 14ℓプランター60 個に花苗植え付けし構成団体へ配布。
- 資機材購入
14ℓプランター30 個、20ℓ土 43 袋、シール 30 枚
軽トラック 1 台リース・・・トップレンタル
- 花苗引取 (2/19&20)・・・2 t トラック (字国場自治会)

② 第 30 回国場川こいのぼりまつり実行委員会開催について

- 日時：3 月 16 日(月) 19:00～21:00
- 場所：まーいまーい Naha
- 日程、開催要項、イベント開催場所など

③ 令和 8 年度 役員候補募集について

- 会長、副会長、その他の役員募集
- 会長は設立から 10 年務めているため、次の世代へのバトンタッチが必要。

④ その他

【勉強会】19:20～21:00

① わった～が想う地域像 “それを成し遂げる方策とは”

- 第1回 目指す姿を求めて（必要性や気づき）
- 令和8年度 第2回～第3回 ワークショップ（多様な意見を吸い上げる）
- 令和9年1月 第4回 ビジョンをまとめ（計画を示す）
- 令和9年4月以降の活動計画から取り組む
- 国場川こいのぼりまつり「イベント」に於いてアンケート調査を予定
- 次世代の中学生、高校生、大学生の参加也大歓迎（皆で声掛けを・・・!）

第1回講師：那覇市まちづくり協働推進課 主幹野底武光